

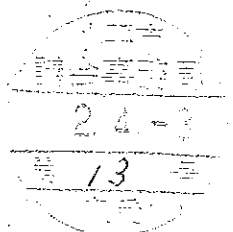
2020年4月3日

小平市議会議長
磯山 亮 殿

会派名 一人会派の会
代表者 伊藤 央

令和元年度 政務活動費収支報告について

小平市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、別紙のとおり
令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和元年度政務活動費収支報告書

会派名 一人会派の会

1 収 入

政務活動費 1,320,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	304,290	
研 修 費	52,087	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請及び陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	113,584	
資 料 購 入 費	97,624	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	567,585	

3 残 金 752,415 円

4 添付書類
別添のとおり

政 務 活 動 費 明 細 書 (1)

項目 調査研究費 (単位：円)

項目	内容	数量	単価	金額	
7月4日 ～7月5日	会派視察(京都府：次世代下宿「京都ソリデール」事業について、嘉麻市：議会ペーパーレス化事業について)	1 式	165,365	165,365	会派視察には、伊藤議員も参加しているが、経費の計上は行わない。
11月7日	政策立案メルマガ&データベース・有料会員(2019年11月～2020年3月分)	5 か月	980	4,900	
1月20日 ～1月21日	会派視察(大阪市住之江区北加賀屋：北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想について、静岡市：しずおかMaaS(静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト)の取り組みについて)	1 式	134,025	134,025	会派視察には、伊藤議員も参加しているが、経費の計上は行わない。
合計				304,290	

※項目欄は、調査研究費、研修費、広報費、広聴費等を記入し、それぞれの項目別に用紙で明細を記入してください。

政務活動費明細書(2)

会派視察(京都府:次世代下宿「京都ソリデール」事業について、
嘉麻市:議会ペーパーレス化事業について)

視察地 京都府・福岡県嘉麻市

項目 調査研究費 日程 令和元年7月4日～7月5日 (単位:円)

内容	数量	単価	金額	備考
①交通費	1式	125,265	125,265	安竹議員は、7/6に京都府で行われる研修に参加したため、7/5(復路)の博多～自宅の交通費はここでは計上しない。
小計			125,265	
②宿泊費	3名分	9,000	27,000	2019/7/4 ホテル(1泊1食付) スーパーホテル Lohas博多駅 ・筑紫口天然温泉
	3名分	1,300	3,900	夕食代(7/4)
小計			30,900	
③雑費小計			9,200	
内 訳	土産代	2箇所	2,980	5,960
	送料 (資料と合わせて送付)	2箇所	1,620	3,240
合計			165,365	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	中江 美和 橋本 久雄 安竹 洋平			件名	会派視察（京都府：次世代下宿「京都ソリ デール」事業について、嘉麻市：議会ペー パーレス化事業について）					
	出張先	京都府・福岡県嘉麻市			出張日	令和元年 7月4日～7月5日				
交 通 費	区間	乗物 種類	距離 (km)	乗車券金額						
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費	
	7/4 一橋学園→高田馬場	西武線	2	23.9	299				598	
	7/4 花小金井→高田馬場	西武線	1	17.9	267				267	
	7/4 高田馬場→東京→京都	JR	3	520.1	8,210	5,390			40,800	
	7/4 京都→丸太町	市営地下鉄 烏丸線	3	3.4	260				780	
	7/4 丸太町→京都	市営地下鉄 烏丸線	3	3.4	260				780	
	7/4 京都→博多	新幹線	3	661.3	9,830	6,230			48,180	
	7/5 博多→桂川	JR	3	26.9	560				1,680	
	7/5 桂川→博多	JR	3	26.9	560				1,680	
	7/5 博多→福岡空港	地下鉄	2	3.3	260				520	
	7/5 福岡空港→羽田空港	航空機	2	912	14,090				28,180	
	7/5 羽田空港国内線ターミ ナル→品川	京急	2	14.5	407				814	
7/5 品川→高田馬場	JR	2	13.3	194				388		
7/5 高田馬場→一橋学園	西武線	2	23.9	299				598		
合計				125,265						

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央




航空機 (復路)

ご予約明細

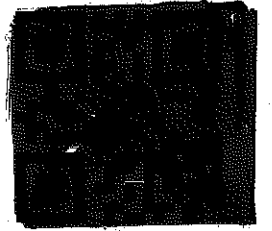
ご搭乗者名 : 中江 美和 様

ご利用人数 : 大人3名 / 小児0名

ご連絡先 : 

搭乗日時 / 予約番号 : 2019年07月05日 (金) 016便 15:10発 #0248

QRコードを自動チェックイン端末にかざしてください




※領収書 (お客様控え) がない場合は、払戻しが出来ませんので予めご了承ください。

242J

インターネット受付 領収書 (お客様控)

領収日 2019年 6月 7日 時間 8時 8分

収納店舗 
小平学園西町三丁目

申込No. 

受付番号: 657907

お客様氏名: 中江 美和 様

07/05 016便15:10発 #0248

発行者

お問い合わせ先: スカイマーク予約センター

電話番号: 0570-039-283

お問い合わせ受付時間: 08:00-20:30

ホームページ: <http://www.skymark.jp>

お申込商品代金 42,270円

合計金額 42,270円



12-14090

領収書

No. 00006639-00
2019/07/04

一人会派の会 様

金額 ￥27,000-

但し、御宿泊代
7/4~1泊分 として、
(3名分:食付) 上記金額正に領収いたしました。

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

スーパーホテルLohas博多駅・筑紫口天然温泉

〒812-0018 福岡県福岡市博多区博多駅南
2丁目1番32号

TEL:092-451-9000 FAX:092-451-9001
http://www.superhotel.co.jp



領収証

一人会派の会 様 令和元年7月4日

★ ￥39,000-

但
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

福岡市博多区上川端町9番1号

牛もつ鍋 川 端

TEL (092)271-37

0001-5819

2019年 6月26日水曜日

領 収 証

一人会派の会

洋菓子 2,980
× 2 個
(現金は送料)

¥9,200-

(消費税等 ¥681)

但し、手土産式 送料 として
洋菓子 エトアール

東京都小平市学園東町2-6-37-2
042-342-2020

担当者



*保管上のお願

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

領収証No 1841

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和元（2019）年7月4日（木）
場 所	京都府庁舎
研究会・ 研修会名	次世代下宿「京都ソリデール」事業
参加した 議員の氏名	伊藤央 中江美和 橋本久雄 安竹洋平（記）
目的・内 容・結果等	<p>■目的 高齢者宅の空き室を、マッチング事業者を介して、京都府内の大学生等へ賃貸するという京都府の事業を視察し、小平市でも同様の事業が行えないか検討する。</p> <p>■内容 *詳細は次ページからのまとめを参照。 京都府の大学数・大学生数はともに全国トップレベルであり、学生の居住環境の確保は課題である。また、高齢者宅の空き室も、空き家につながる問題である。一人暮らしの高齢者の課題もある。政府の「地方創生」政策の交付金を活用することにより、それら複数の課題を解決する一つ的手段として、高齢者宅の空き部屋を、マッチング事業者を介して学生に貸し出すという「次世代型下宿」事業を京都府が実施している。京都府はマッチング事業者への資金・情報の提供や周知活動を担っており、一定の成果を上げている。</p> <p>■結果 ● 平成27（2015）年開始事業で、同居成立数は本年7月4日時点の累計で21組。 ● これまで通学に往復で数時間を要した学生が、大学の近くに住めることによって、学業や課外活動に時間を割けるようになった。 ● 高齢者と若者がともに住まうことにより、世代間の理解が進んだ。 ● 高齢者にとっては誰かが同居していることが安心につながっている。 ● 高齢者同士に比べて、高齢者と若者の同居はぶつかることが少ない。 ● 一日中寝巻のままなどという生活と比べて、高齢者の生活に張りがある。</p> <p>■今後の課題 ● 周知活動や勉強会を通じて、マッチング件数をより増やしていくこと</p> <p>■感想 多世代交流、高齢者福祉、学生福祉、低コストで進められるなど、様々な観点から非常に良い事業であり、小平市でも推進したいと感じた。そのためにまず小平市の課題とニーズを探る必要がある。学生側のニーズとして、小平市にはソリデール事業の対象となるような学校施設も多い。ただし賃料相場はそれほど高くないため、より具体的な調査が必要である。高齢者側のニーズについても同様に調査が必要である。 市の事業として行う場合は、高齢者福祉の視点、学生の住環境改善の視点、もしくは別の視点（国の助成金事業）など、「何を主軸に据えるか」の検討も必要。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなど等も整理し保管すること。

2019年7月4日

次世代下宿「京都ソリデール」事業視察

まとめ

小平市議会議員 安竹 洋平

最終更新:2019/8/16

次世代下宿「京都ソリデール」事業

訪問日時	2019年7月4日 13:30
訪問先	京都府 建設交通部 住宅課 岡田 有資 課長 椋平 芳智 計画担当主幹兼係長
場所	京都府庁舎 和室
参加 者名(敬称略)	小平市議会議員 一人会派の会 伊藤 央、中江 美和、橋本 久雄、安竹 洋平 (氏名順・敬称略)
作成	安竹 洋平
その他資料	配布資料、会議録

次世代下宿「京都ソリデール」事業

1. 概要

京都ソリデール事業は、京都府住宅課が中心に取り組んでいる、居宅に関する福祉事業。京都府は人口10万人当たりの学生・大学数が全国トップ。しかし卒業後その多くが京都府外に出て戻ってこない問題があり、その対策が念頭にある。事業内容としては、京都府内の大学・高校に通う学生が、京都府内に在住する高齢者宅の空き室を借りて住まう、いわば「下宿の新しい形態」を京都府内に普及させるというもの。通常の下宿と異なり、民間の事業者が「マッチング事業者」として介在し、学生と高齢者間のマッチングや同居後のサポートを担う。京都府はマッチング事業者に1社あたり年間50万円の委託費を払うとともに、庁内の他部署とも連携して福祉政策と絡めた普及啓発活動を行っている。

2. 事業の位置づけ：京都府地域創生戦略（H27～R1）

国の『地方創生』政策に基づく（自治体が立てた戦略に対して交付金が支給される）

□ 京都府地域創生戦略

基本目標1：『京都の未来を拓く人をつくる』 5-(2)：『学生の地域交流促進』

「若者と高齢者の同居を支援する新しい住環境のマッチングシステムづくり」

次世代下宿「京都ソリデール」事業

3. 趣旨

京都府内の学校へ通う大学生等（高校生含む）に、低廉で質の高い住宅を確保すること、および自宅の一室を提供する高齢者と、そこに居住する大学生等との交流を図る同居マッチングシステムを構築すること。

4. 予算

年間500万円（マッチング事業者6社へ委託費50万円＋普及啓発費200万円）

* 別途下宿費補助制度あり（健康福祉部）

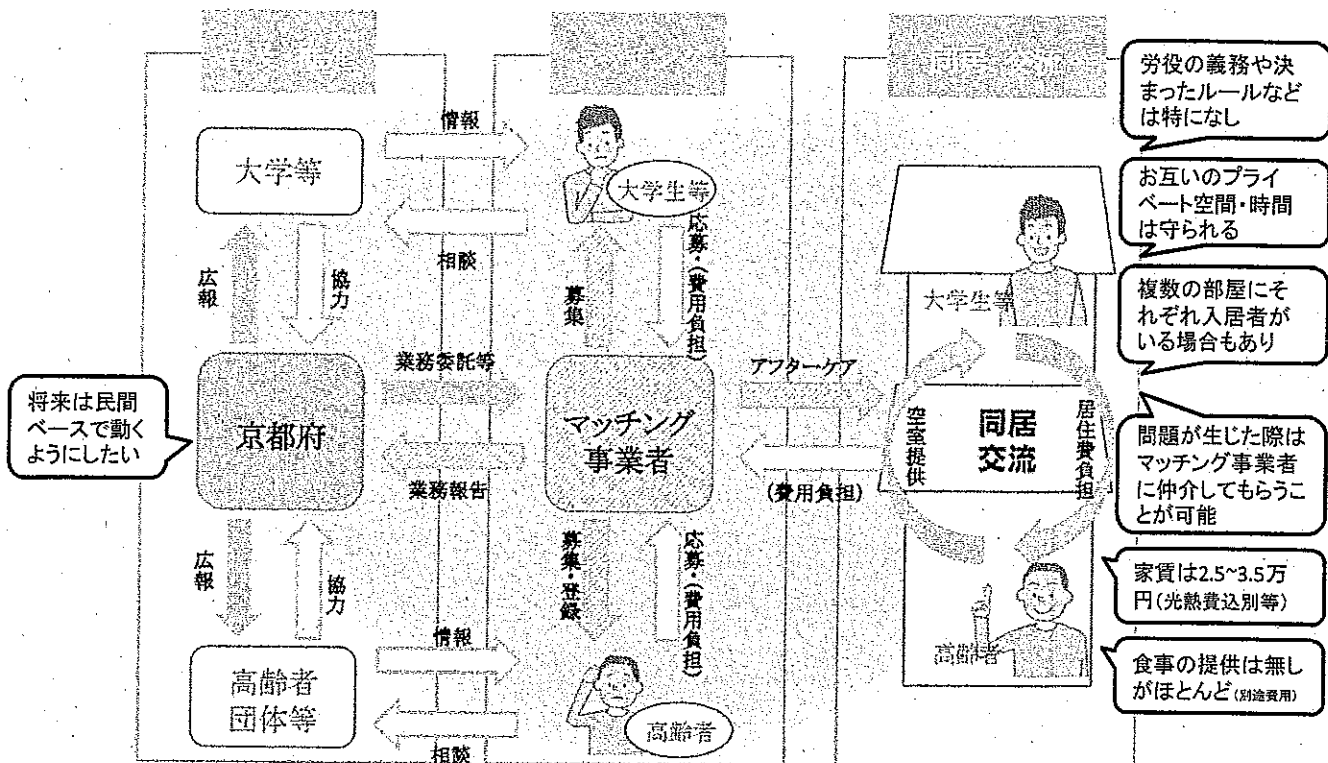
※京都府住宅課資料「事業概要」より

5.

事業の進捗状況、今後の推進方案等について意見交換	成功事例・失敗事例等の情報共有、意見交換等	広報・施策の連携、協議等
●アドバイザー 京都府立大学 榎谷 教授 立命館大学 植井 教授 福知山公立大学 杉岡 准教授	(株)応用芸術研究所 若者のネットワーク等	住宅課 住宅施策・京都ソリデール
●関係団体(出席者) (公財)大学コンソーシアム京都 京都学生祭典実行委員会 (公財)京都SKYセンター (公財)京都府宅地建物取引業協会 福知山公立大学多世代交流型住民自治活動開発研究会	京都高齢者生協くらしコープ 高齢者のネットワーク、マッチング実施等	企画参事 NPO・府民協働
●その他 マッチング事業者(6事業者・右記) 関係行政(京都府、福知山市、宇治市、南丹市、亀岡市)	NPO法人フリーダム 不動産業者としてのノウハウ等	大学政策課 大学政策
	(株)アッドスパイス シェアハウスの豊富な運営経験	高齢者支援課 高齢化対策
	(株)Localize 地域の大学・大学生・高齢者との交流等	家庭支援課 ひとり親家庭福祉・下宿費補助
	NPO法人テダス 行政・地域団体とのつながり等	農村振興課 移住促進・移住者ホームシェア支援

次世代下宿「京都ソリデール」事業

6. 実施体制スキーム



*吹き出し以外は京都府住宅課資料「事業概要」より

次世代下宿「京都ソリデール」事業

7. 経過

	平成27年(2015)年度	平成28年(2016)年度	平成29年(2017)年度	平成30年(2018)年度	令和元年(2019)年度
事業概要	先進事例調査 フランス パリ・ソリデール 東京 街ing本郷 ハートウォーミング・ハウス 福井 福井大学	京都市内で異世代同居マッチングの開始・検証(事業者公募)	北部、南部へ展開(事業者公募)	中部へ展開(事業者公募)	大学や地域との連携強化
補助制度		*リフォーム補助制度創設 2018年までの3年・半額補助(上限90万円) *計画推進のため	*下宿費補助制度創設 京都府内の生活困窮世帯対象、家賃・光熱水費・食費の1/3を補助(健康福祉部)		
実施件数	-	2件	3件	4件	補助制度終了
世帯数	-	11世帯	22世帯	32世帯	
人数	-	17人	30人	31人	
増加数	-	+4組	+4組	+13組	+10組
高年齢者世帯	-	4組	8組	17組	
学生世帯	-	4組	8組	21組	24組

*30年度実績
(高年齢者) (学生)
女性 11世帯 女子 13人
夫婦 9世帯 男子 8人
男性 1世帯

次世代下宿「京都ソリデール」事業

8. 様々な課題の解決等

収入が減少傾向・ほぼ半数が奨学金利用	家賃が安く、経済的負担が減ることにより、学生の福祉が向上
家賃が高いとアルバイトや通学に時間を取られて勉強やサークルに時間が割けない	家賃が安く、学校から近い場所を選べるため、アルバイトと通学にかかる時間を削減できる
親元を離れて一人暮らしの不安	同居人がいるので安心
単身世帯の増加による様々な問題(孤独、家庭内事故、外から家屋内の状況が分からない等)	同居人がいるため、これら問題は解消する
犯罪、台風、震災、病気など、突発的な問題への不安	若い同居人がいれば安心度が高い
日常生活におけるちょっとした作業が困難	若い同居人が手伝ってくれる
生活に張りがない	同居人がいるため、程よい緊張感がある。生活のリズムが整い、服装に気がついたり、家賃も入るため、生活に張りがある
介護が必要	(介護は地域包括ケアが担当する。同居人は介護はしない)
交流がないことによる、他世代に対する誤解や認識不足	交流により理解が進む
人口10万人当たりの学生数・大学数は全国トップ。しかし学生は卒業後、大阪や東京へ出てしまう。年齢階級別の移動人口が10代後半でプラス、20代前半でマイナス	高齢者と住み、地域と交わることで、学生に京都を「第二の故郷」と感じてもらい、将来的な定住の可能性向上に
地域活動の担い手不足により、地域が活性化しない	(地域活動への参加等は京都ソリデールの条件にはない)

次世代下宿「京都ソリデール」事業

9. 課題以外の特徴

高齢者より体力がある	持ち家世帯は部屋数が多い
生活環境に対する要求は高齢者より低い	部屋を賃貸用に作ってあるわけではないので、安く貸すことに抵抗がない
他人と住む生活に興味がある	若者を応援しようという気持ちがある
1~4年で学校を卒業するという期限がある	利益重視ではない

10. Q&A

家賃の取り決めは？

京都府の方から金額の指定はなし。マッチング事業者の方から大体の金額を示す程度で、部屋を提供してくださる方の意向に依存する。

マッチングの面談(お見合い)ではすぐに同居が決まる？

大学生等と高齢者の面談は複数回に及ぶ場合もある。一旦同居しても、合わないということでやめる場合もある。

今後の同居数目標は？

京都ソリデールは社会現象になることを目的としており、同居数の目標は設定していない。民間ベースで行う場合は50件程度あればペイするという試算。

次世代下宿「京都ソリデール」事業

10. Q&A(つづき)

地域での評価は？

高齢者が多い地域の中で、若い学生の同居を「学生さんが来てくれている」と周りも評価しているという話をよく聞く。

ソリデールの意味は？

フランス語で「連帯の」という意味。

空き室はどれだけある？

空き室がどれだけ存在するかのデータはない。空き「家」率に関しては京都府は13%程度で、高齢を理由とした空き家は少し増えていることから、空き室も増えている可能性がある。

空き家対策に関する国の助成は？

空き家を住宅にすることに関して補助金は出ない。空き家を店舗や社会福祉施設にするなど違う用途にする場合には補助金が出る。

高齢者の年齢はどのくらい？

ばらばら。最高齢90歳。50代の方はまだいない。

ワンルームの部屋を借りる場合と比べてどう？

京都の相場だとワンルームで6万円くらい。単純に京都ソリデールでの同居はワンルームと比較できない。例えば学生専用の部屋は8～10畳、リビングがすごく広かったり、キッチンが自由に使えたり、お風呂も広いなど、これを全て家賃に換算すれば相当高い住環境になる。

次世代下宿「京都ソリデール」事業

11. 小平市におけるソリデール事業について(感想と考察)

多世代交流、高齢者福祉、学生福祉、低コストで進められるなど様々な観点から非常に良い事業であり、小平市でも推進したいと感じた。そのためにまず小平市の課題とニーズを探る必要がある。学生側のニーズとしては、下記のように、ソリデール事業の対象となるような学校施設も多い。ただし、賃料相場はそれほど高くないため調査が必要。高齢者側のニーズについても同様に調査が必要。

市の事業として行う場合は、高齢者福祉の視点、学生の住環境改善の視点、もしくは別の視点(国の助成金事業)など、「何を主軸に据えるか」の検討も必要か。

小平市での導入・推進を念頭に、まず調査を進める。

大学・短期大学(7校)

一橋大学小平国際キャンパス(宿舎)/嘉悦大学/津田塾大学/白梅学園大学/白梅学園短期大学/武蔵野美術大学/放送大学 東京多摩学習センター/文化学園大学 小平国際学生会館

専修学校(5校)

国土建設学院/国際ビジネス専門学校/国際パティシエ調理師専門学校/国際健康植物科学専門学校/西東京調理師専門学校

各種学校(1校)

朝鮮大学校

学校教育以外の施設(6校)

職業能力開発総合大学校/東京障害者職業能力開発校/国土交通大学校(宿舎)/陸上自衛隊小平学校(宿舎)/関東管区警察学校(宿舎)

以上

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年月日	2019（令和元）年7月5日（金）
場所	嘉麻市
研究会・研修会名	議会ペーパーレス化事業について
参加した議員の氏名	伊藤 央 中江美和 安竹洋平 橋本久雄
目的・内容・結果等	<p>●目的 全国的にも早い時期に議会ペーパーレス化を実現した経過、実績、効果などを学び、小平市議会でのペーパーレス化を検討する。</p> <p>●内容 初当選した現市長がこの事業の検討を指示。 平成25年10月、神奈川県逗子市、埼玉県飯能市を視察。 平成25年11月、議会運営員会で協議。 同年12月、各常任委員会で協議。反対意見なし。ペーパーレス化を決定。 平成26年3月、ペーパーレス化専門部会設置。 同年6月、補正予算計上。9月議会から紙とタブレットの並行運用開始。 平成27年5月、本格稼働開始。同時に施行部でも活用。</p> <p>●結果 議員の利便性の向上。 執行部、議会事務局の負担軽減。 経費の削減、244万円減（26、27年度合計） 労務の削減、資料の編集等作業時間大幅な削減 副次的な業務の削減、使用の保管場所がなくなったなど。</p> <p>●今後の課題 文字サイズを大きくする。 スキルアップを図る。 活用範囲を拡大する。テレビ電話アプリを活用した会議の開催など</p> <p>●感想 コストはさらに削減の可能性があるように感じた。 議会にだけでなく市長部局も対象にしたことで議事進行がスリムになった。 市長の決断が大きかった。決定及び実施までの期間が1年以内だった。 小平市でも大枠を決めたら、期間を決め、少人数で詳細を検討する。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなども整理し保管すること。

領収証

日付：2019年11月07日

一人会派の会 様

¥11,760-

但し：商品代

商品名	数量	単価	金額
政策立案メルマガ&データベース・有料会員（銀行振込）	1	¥11,760	¥11,760
合計			¥11,760

お支払い方法：銀行振込

商品代金	¥11,760
合計	¥11,760

政策立案株式会社

〒656-0062

神戸市東灘区立花町1-5-14

電話：078-411-2422



決済ID： XXXXXXXXXX

1か月 当分 980円税込

5か月 当分 4,900円税込

令和元年度 会計上分と可算

(2019年11月～2020年3月分)

政務活動費明細書（２）

会派視察（大阪市住之江区北加賀屋：北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想について、
静岡市：しずおかMaaS（静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト）の取り組みについて）

視察地 大阪市（北加賀屋）・静岡市

項目 調査研究費 日程 令和2年1月20日～1月21日 (単位：円)

内容	数量	単価	金額	備考
①交通費	1 式	102,802	102,802	
小計			102,802	
②宿泊費	3 名分	6,500	19,500	2020/1/21 ホテル(1泊1食付) スマイルホテル 名古屋新幹線口
	1 式	3,883	3,883	夕食代 (1/20) 3名分
小計			23,383	
③雑費小計			7,840	
内 訳	土産代	2 箇所	2,808	5,616
	送料 (資料と合わせて送付)	2 箇所	1,112	2,224
合計			134,025	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者		件名								
中江 美和 橋本 久雄 安竹 洋平		会派視察（大阪市住之江区北加賀屋：北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想について、静岡市：しずおかMaaS（静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト）の取り組みについて）								
出張先		出張日								
大阪市住之江区北加賀屋・静岡市		令和2年 1月20日～1月21日								
交通費	区間	乗物種類	距離(km)	乗車券金額				片道旅費	往復旅費	
				運賃	特急料金	グリーン	その他			
	1/20 一橋学園→高田馬場	西武線	2	23.9	304				608	
	1/20 花小金井→高田馬場	西武線	1	17.9	272				272	
	1/20 高田馬場→品川→新大阪	JR	3	559.1	8,910	5,290			42,600	
	1/20 新大阪→北加賀屋	大阪メトロ	3	13.6	330				990	
	1/20 北加賀屋→新大阪	大阪メトロ	3	13.6	330				990	
	1/20 新大阪→名古屋	新幹線	3	186.6	3,410	2,860			18,810	
	1/21 名古屋→静岡	新幹線	3	185.8	3,410	2,860			18,810	
	1/21 静岡→品川→高田馬場	JR	3	194.6	3,410	2,860			18,810	
1/21 高田馬場→小平	西武線	1	20.6	304				304		
1/21 高田馬場→一橋学園	西武線	2	23.9	304				608		
合計								102,802		

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央 ㊞

領収書
receipt

発行日
2020/01/21 00:03

T 003448101 030
810 00000000

一人会派の会 様

収入
印紙

¥19,500 (内消費税 ¥1,770)

スマイルホテル名古屋新幹線口
453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町21-20
21-20, Tsubaki-cho, Nakamura-ku, Nagoya 453-0015
TEL:052-452-3355 FAX:052-452-0888

さ 分

2020年 1月20日(月)

領 収 証

一人会派の会 様

¥3,883-

預/現計 ¥3,883 (消費税 等 ¥353)
(消費税 等 353円を含みます)

但し、お食事代として
味仙 JR名古屋駅店
名古屋市中村区名駅1-1-4 駅構内うまいもん通り太閤通口
TEL (052) 581-0330

担当者

0001-5528

* 財布等で保管戴く場合、印紙面を内側に折って保管願います。

0001-0161

2020年 1月16日 木曜日

領 収 証

一人会派の会

¥7,840-

(消費税等 ¥580)

但し、
洋菓子 エトアール

東京都小平市学園東町2-6-37-2
042-342-2020

*保管上のお願
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

洋菓子@ 2808.
72=5616

(現金送料)

7224

担当者

領収証No 1982

視 察 報 告 書

会派名： 一人会派の会

年 月 日	2020年 1月 20日 (月)
視 察 都 市	大阪市住之江区北加賀屋
視 察 事 項	北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想について
参 加 し た 議 員 の 氏 名	伊藤 央、中江美和、安竹洋平、橋本久雄
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p>大阪の南西部を流れる木津川とその河口付近にひろがる町が北加賀屋地区は、大正時代から造船業で栄え、高度成長期には約 2 万人が働いていたといわれる。</p> <p>河岸に造船所群、周辺に下請け工場や倉庫がつくられ、そこで働く人々のための住宅や商店が派生して町が形成された歴史を持つ。しかしその後の産業構造の変化に伴って、造船所は次々に町の外に出て行った。</p> <p>その北加賀屋が大阪市内でも屈指の“アートのまち”に生まれ変わりつつある。</p> <p>●名村造船所跡地、クリエイティブセンター大阪</p> <p>「KCV（北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ）構想」は、北加賀屋エリア（大阪市住之江区）を創造性あふれる魅力的なまちに変えていく試みとして、2009年に提唱された。あらゆるジャンルのアーティストや、ものづくりに関わるクリエイターなど、創造的な活動を行う人々が北加賀屋に集うような取り組みを進め、国内だけではなく世界に向けて情報発信することで、このエリアの魅力が向上し、「行ってみたい」「住んでみたい」と思われる場所になることを目指しています。</p> <p>視察場所</p> <p>① ベンアインの壁画 ②ろばの家 ③バルク北加賀屋 ④みんなのうえん・ひまわり ⑤マイネ・ガルデン ⑥SSK ⑦音ビル ⑧MASK ⑨カナリヤ条約 ⑩千鳥文化</p>

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和2 (2020) 年1月21日 (火)
場所	静岡市役所
研究会・研修会名	静岡型 MaaS 導入に向けた取組み
参加した議員の氏名	伊藤央 中江美和 橋本久雄 安竹洋平 (記)
目的・内容・結果等	<p>■目的 高齢化の進展に伴い、小平市においても、誰もが容易に利用できる交通手段の整備が求められている。中でも情報通信技術を活用した Mobility as a Service (MaaS) が注目を集めており、その先進導入事例として静岡市における MaaS 事業の視察を行った。</p> <p>■内容 詳細は補足資料を参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静岡市の概要 ● まちづくりの課題と目標 ● 都市・交通分野の役割 ● MaaS への取組みと先行実証実験 (平成31年2月) ● AI 相乗りタクシー ● MaaS コンソーシアムと新モビリティサービス推進事業 ● AI 相乗りタクシー実証実験 (令和元年11月) ● 今後について ● Q & A <p>静岡市は、他の多くの自治体同様に、郊外部は高齢化が進み、中心市街地も外出率が低下するなど地域活力が減退傾向にある。人口 70 万人規模の維持を目指して第三次静岡市総合計画が立てられており、コンパクトなまちづくりを目指す『立地適正化計画』と、生活に必要な移動を支える公共交通ネットワーク整備を目指す『地域公共交通網形成計画』がその両輪を担っている。公共交通ネットワーク整備においては『お茶っ葉型の都市構造』を想定し、MaaS の取組みを進めている。ファースト/ラストワンマイルの移動手段として AI 相乗りタクシーの実証実験を行っており、静岡鉄道を主幹事としたコンソーシアムを通じて、国交省の補助金も受けるなど、挑戦的な施策を進めている。これまでに 2 回実施した AI 相乗りタクシー実証実験は、市民の反応は良好であるものの、事業効果や需供を定量的に判断するには規模を拡大する必要がある。課題は周知の面やユーザー獲得の入り口の部分にあると認識しており、運賃体系についてもどのようなものが馴染むかの検討が必要であり、今後 4 年間かけて実証実験を進める。</p> <p>■感想 様々な分野でシェアリングエコノミーの活用が図られている中、静岡市の MaaS 事業はまちの課題を解決する手段の一つとして検討され、静岡鉄道が中心となって AI 相乗りタクシーが実際にテスト運行されている。ファースト/ラストワンマイルの移動手段については、小平市は静岡市と比較すると交通の便は良いものの、コミュニティバス・タクシーが試験的に運行されているように既に一定の需要が存在し、また高齢者が外出しやすくなるように、検討が必要である。市民とともに進めることに価値を置く静岡市の独自の取組みは、小平市にとっても参考になる部分が多いと感じた。ただしまだ課題も多いため、静岡市や他先進自治体の動向、国の取組みを注視し、必要に応じて小平市でも実験を行うなど、市民がより過ごしやすくなるまちの実現に向けて、市政に訴えかけていきたい。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなども整理し保管すること。

静岡型 MaaS 導入に向けた取組み（令和 2 年 1 月 21 日研修報告書・補足資料）

静岡市の概要

北は南アルプス、南は駿河湾に接し、総面積 1411.9k m²（小平市総面積の約 70 倍）の広大な行政区域を有する。人口構成は、中心市街地に 9 割、郊外山間部に 1 割。

まちづくりの課題と目標

郊外部は高齢化が進み、中心市街地も外出率が低下しており、地域活力が減退傾向にある。人口 70 万人規模の維持が一つの課題であり、第三次静岡市総合計画を SDGs と絡めて『世界に輝く静岡』を目標としている。また、高齢化に伴い免許返納が増えているものの、代替となるバスは運転士不足の状況で路線が増やせず、交通サービスの需給バランスが崩れ始めており、持続可能な公共交通網の構築が喫緊の課題である。

都市・交通分野の役割

コンパクトなまちづくりを目指した『立地適正化計画』と、生活に必要な移動を支える公共交通ネットワーク整備に向けた『地域公共交通網形成計画』を両輪に据え、静岡鉄道を主脈、バスを側脈、まちの中心を結節点、残りをタクシー等がカバーする『お茶っ葉型の都市構造』を想定し、施策を行う。

MaaS への取組みと先行実証実験（平成 31 年 2 月）

持続可能な公共交通網の構築に向け、LuLuCa カードを展開する静岡鉄道から話があり、MaaS に取り組むこととなった。平成 31 年 2 月に静岡鉄道（株）が中心となり、東静岡駅周辺を対象とした MaaS の実証実験を実施。実験内容は、（株）ヴァル研究所「複合経路検索サービス『mixway』」と（株）未来シェアの「AI 相乗りタクシーシステム『SAVS』」の体験利用。結果は良好であった。

実験期間	平成 31（2019）年 2 月 15 日～2 月 23 日、毎日 8：00～18：00
実施主体	静岡鉄道株式会社、公立大学法人 公立はこだて未来大学、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立大学法人 名古屋大学
協力	静鉄タクシー株式会社、株式会社ヴァル研究所、株式会社未来シェア、一般財団法人 計量計画研究所
後援	静岡市
内容	・複合経路検索サービス『mixway』 https://mixway.ekispert.net/ ・AI 相乗りタクシーシステム『SAVS』（スマホ専用アプリ（DL 停止中））の体験利用 [東静岡駅周辺エリア] LuLuCa カードモニター約 100 名を対象に、運賃無料で乗車体験・運行体験 [清水港周辺エリア] クルーズ船客を対象に、運賃 1,000 円で乗車体験・運行体験
結果	利用者 77 人、乗車回数 244 回、相乗り発生率 19.6%。 アンケート結果では、「今後も同様なサービスを利用したい」7 割、「免許返納しやすくなる」7 割

AI 相乗りタクシー

タクシーのシェアライドシステム。(株)未来シェアの、AI 相乗りタクシーシステム『SAVS』を活用。最初のユーザー(乗客)がアプリから始点と終点を入力し、タクシーが始点に向かう。始点に向かう間、もしくはユーザーを乗せて移動中に別のユーザーからの乗車要求が発生すると、システムは両方のユーザーそれぞれの始点と終点を經由する最適ルート进行計算し、一部区間で両方のユーザーを乗せて移動する。顧客は本来の経路よりも時間がかかる可能性があるが、料金を他のユーザーと分け合うことで安価に利用できる可能性がある。事業者は需要増による収益向上が期待できる。

将来的にはタクシー・電車・バスの乗り継ぎに関してもスマホ決済できるような形を目指しているが、現在スマホ決済できるのはAI 相乗りタクシーの部分のみ。

MaaS コンソーシアムと国交省の『新モビリティサービス推進事業』

静岡鉄道を代表幹事とし、交通、観光、商業、福祉、金融、行政の各分野と、国交省オブザーバー、技術会員(システム会社、コンサル等)を会員とするMaaS コンソーシアム(静岡型基幹事業実証プロジェクト)を設置。国交省の『新モビリティサービス推進事業』に応募し、令和元年11月のAI 相乗りタクシー実証実験費用として1,400万円の補助金をコンソーシアムとして得る。なお平成31年度全体の事業費は約4,000万円で、静岡市の支出はゼロであり、コンソーシアムの会員がそれぞれ負担している。

構成団体	交通：静岡鉄道(株)、(商組)静岡県タクシー協会、(株)エスパルスドリームフェリー 観光：(公財)するが企画観光局 商業：静岡商工会議所 福祉：(社福)静岡市社会福祉協議会 金融：(株)静岡銀行 行政：静岡市 *代表幹事：静岡鉄道、代表幹事代理：静岡市
オブザーバー	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所
技術会員	(株)未来シェア他

AI 相乗りタクシー実証実験(令和元年11月)

国交省の『新モビリティサービス推進事業』補助金を受け実施した実験。先行実証実験よりもエリアを広く取り、運賃は通常料金より25%引きとし、対象をLuLuCaカード会員かつクレジットカード決済が可能な人とした。結果は想定より参加人数が少なかったものの、相乗りの発生率は有識者による高い数値であるとのこと。課題として、宣伝が足りなかったという点がある。10月に宣伝期間を取っていたが想定より人数が集まらなかった。また、クレジットカードの登録面でハードルがあり、入り口の部分はもっと簡素化する必要がある。

実施期間	令和元(2019)年11月1日~11月30日、毎日8:00~21:00
エリア	静岡駅、東静岡駅を含む静岡市葵区一部エリア(東西約6.8km x 南北約4.3km)
実施主体	MaaS コンソーシアム(静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト)
協力会社	市内タクシー会社9社:

	静鉄タクシー(株)、不二タクシー(株)、静岡ひかりタクシー(株)、千代田タクシー(株)、(株)アンピ・ア、 静岡平和タクシー(株)、辰巳タクシー(株)、笑福タクシー、永田タクシー
その他	AI 相乗りタクシー配車手配・運賃收受：(株)JTB AI 相乗りタクシーシステム開発：(株)未来シェア
内容	・ AI 相乗りタクシーに対する社会受容性の検証 ・ 相乗運賃の感度分析、事業採算性検証 ・ 課題の洗い出し 運賃は通常タクシーより 25%割引
結果 (速報)	実験登録者数：456 人（当初目標 1,000 人）利用者 179 人、乗車回数 315 回、相乗り発生率 25.4%。

今後について

本格稼働までのスケジュールとして、今後 4 年間を実証実験の期間と捉えている。モビリティだけではなく関係するサービスも含めて行う必要があり、第三次静岡市総合計画の末期まで実験を行い、その後実用化の方針。MaaS の開発は様々なところがやっており、小田急もサブスクリプション（定額制）のモデルを出している中、どこまでマイペースで進められるかという話もあるが、静岡市としては丁寧にとつずつ行い、市民と一緒に作り上げていくことに価値があると考えている。

Q & A

Q: 人口 70 万人の維持は困難では。

A: 難しさはあるが前向きに取り組む。これをやっても 70 万人に行かないという気持ちでは行わない。

Q: 予約はできるか。

A: 予約可能にすると車を待機させる必要があり、25%割引があることからタクシー事業者の収益面で困難さがあり、今回は見送った。

Q: 3 人や 4 人の相乗りも可能か。人数が増えた方が収益が上がるのでは。

A: 3 人までを目途にしており、実際 3 人のケースもあった。相乗り率は 2 人以上でカウントしている。収益面では微妙なところがある。料金体系としては様々な考え方があり、中国で一般的な「走った距離を乗車人数で均等案分する」方法もある。特定の始点と終点間の乗客が見込める際は成り立つ。実際は始点と終点がばらばらなため、単純に距離で案分というわけにはいかない。どういう運賃体系が馴染むかは今後の調査項目。システム構築の時間・予算的な制限もあり、今回は限定的に行った。

Q: タクシーの料金を下げることなど、法令上難しいところがあるのでは。

A: タクシー運賃は道路運送法で決まっている。ただし相乗りタクシーに関する運賃制度はない。実証実験の運賃については、道路運送法第 21 条の許可を受けて行えることになっており、地域の承認が得られれば限定的に行える。また、企画旅行、募集旅行として行う場合は適正値であればよく、主に時間貸しの計算で行える。例えば時間 6 千円で借り上げ、千円で売るなど。運賃については様々な選択肢があり、むしろ不足分の補填をどうするかなどが課題。

Q: ライドシェア反対の動きはあったか。また本格稼働後の市への収入は。

A: タクシー業者としても今後取り組む必要性を感じている会社がある。市への収入は想定していない。

以上

政 務 活 動 費 明 細 書 (1)

項目 研修費 (単位：円)

項目	内容	数量	単価	金額
5月25日	ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会	1式	2,864	2,864
7月5日～6日	第2回ホームシェア会議 第6回高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム	1式	30,707	30,707
8月5日	三多摩議員ネット 夏講習 (保育の無償化について、マイナンバーカード問題について、認知症対策大綱について)	1式	2,742	2,742
10月28日	自治体議員政策情報センター虹とみどり 地方×国政策研究会 (会計年度任用職員制度をどう考えるのか)	1式	3,006	3,006
1月16日～17日	三多摩議員ネット 冬合宿 (持続可能性を追求する時代の自治体、介護保険制度について)	1式	8,968	8,968
1月17日	三多摩議員ネット 冬合宿 (介護保険制度について)	1式	2,796	2,796
2月7日	認知症の人による社会参加推進フォーラム	1式	1,004	1,004
合計				52,087

※項目欄は、調査研究費、研修費、広報費、広聴費等を記入し、それぞれの項目別に用紙で明細を記入してください。

政務活動費明細書(2)
 ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会
 研修地 東京都中野区
 日程 令和元年5月25日

項目 研修費 (単位:円)

項目	研修費	数量	単価	金額	備考
	①交通費	1 式	864	864	
	小計			864	
	②宿泊費				
	小計			0	
	③雑費小計			2,000	
内	セミナー受講料 「ごちゃまぜ で進める地域 包括ケア・地 域共生社会」		2,000	2,000	
訳					
	合計			2,864	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	安竹 洋平			件名	ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会				
出張先	東京都中野区			出張日	令和元年5月25日				
交通費	区間	乗物種類	距離(km)	乗車券金額					
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費
	5/25 花小金井⇄高田馬場	西武線 1	17.9	267					534
	高田馬場⇄中野	東西線 1	3.9	165					330
	合計			864					

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



令和元年5月25日

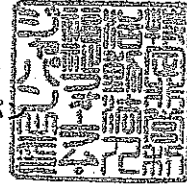
領 収 書

一人会派の会 様

¥ 2,000-

但 基調講演参加費として

東京都渋谷区代々木4-30-3
NPO 法人福祉フォーラム・ジャパ



NPO 法人福祉フォーラム・ジャパン

「ごちゃませで進める 地域包括ケア・地域共生社会」

◎日時： **2019年5月25日(土)**

15:00~16:45 (質疑・意見交換を含む)

◎プログラム：

基調講演「ごちゃませで進める地域包括ケア・地域共生社会」

唐澤 剛氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授)

1956年長野県安曇野市生

1980年早稲田大学政治経済学部卒業。同年厚生省に入省

2012年厚生労働省政策統括官 (社会保障担当)

2014年保険局長

2016年6月~2018年8月まで内閣官房まちひとしごと創生本部地方創生総括官

2018年8月に退職

2018年12月から現職。2019年10月より佐久大学客員教授

| トップページ | 設立趣意 | イベント紹介 | 部会活動 | 役員名簿 | お問い合わせ | 入会・更新フォーム |

福祉・医療の未来を創造する一。

特定非営利活動法人 **福祉フォーラム・ジャパン**

イベント紹介

NPO法人 福祉フォーラム・ジャパン

講演

ごちゃまぜで進める 地域包括ケア・地域共生社会

多職種連携・社会サービス一体化による、地域包括ケア・地域共生社会の形成を考える講演を開催いたします。

本格的な人口減少時代に突入した日本では、地域と言う「顔の見える関係」で医療・介護・障害・子育て等の社会サービスを一体として推進する地域包括ケア・地域共生社会の形成が必要不可欠です。

介護保険の創設・国民健康保険制度の大改革にかかわり、内閣官房の前地方創生総括官を務めた唐澤氏が、その豊富な体験を踏まえ、地域包括ケア・地域共生社会への課題と展望を語ります。

ご参加の皆様との活発な質疑と意見交換の場も設けますので、ぜひご参加ください。

<講師>

唐澤 剛氏

前 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授
佐久大学 客員教授

<開催日> 2019年5月25日(土) 15:00~16:45

<会場> 中野サンプラザ (7階 研修室10)
東京都中野区中野 4-1-1

<交通> JR・東京メトロ中野駅 徒歩4分
地図・交通情報

<参加費> 当フォーラム会員…無料 一般…2,000円

※ 参加費は、当日受付でお支払ください。

※ 当日のご入会も承ります。(入会金 2,000 円, 年会費 3,000 円)
当日受付時にご入会の場合、参加費は会員料金となります。

<定員> 100名

<申込締切> 5月17日(金)まで(定員になり次第締切)

<参加お申込み方法>

下リンクの<参加お申込書>にご記入の上FAX、または必要事項をメールでお送りください。

送信先: (E-mail) ffjinfo@ff-japan.org / (FAX) 03-5388-7210

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和元（2019）年 5 月 25 日（土）
場 所	東京・中野サンプラザ
研究会・ 研修会名	ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会 (慶應義塾大学大学院 教授・元厚労省保険局長 唐沢 剛 氏による講演)
参加した 議員の氏名	安竹洋平
目的・内 容・結果等	<p>■目的 急速な少子高齢化に起因した深刻な課題を乗り越えるために、地域包括ケア・地域共生の推進は最重要事項の一つであり、小平市においても喫緊のテーマとして重点的に取り組まなければならない。その観点から、地域包括ケア策定の中心人物であった唐澤氏による講演は、制度に関する基礎的知識を得る上で役に立つと考え、参加した。</p> <p>■内容 日本の人口減少は非常に急速で、第三次ベビーブームの山が来ないという異常事態も起きている。2045年には大都市圏で75歳以上人口が現時点の倍になり、入院患者と要介護者が急増する。年間死者数は約30万人増え、多死社会になり、病床が不足することは明らかである。残された選択肢は地域包括ケアしかない。さらに、今後も進む東京への一極集中が、地方の疲弊を加速させている。地方創生は不可欠であり、医療介護における付加価値・生産性の向上は急務である。 日本の医療は「国民皆保険」「フリーアクセス」「民間病院が主」といった要素が相互に関連し、一方で介護は「市町村中心」「公的保険制度」「要介護認定ケアマネジメント」といった要素からなる。その中で、地域包括ケアは『地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域で、その有する能力に応じ、自立した生活を送ることができるよう、医療介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制』のことで定義されている。地域包括ケアは、「医療介護連携」を縦軸、「生活支援とまちづくり」を横軸に捉えることができる。縦軸の医療介護連携は、医師のリーダーシップのもと、地域に根ざし、多職種協働で顔の見える関係づくりを進め、それぞれの人の物語を尊重しながら、医療と介護を一体的に提供するものであり、チーム医療介護として、多職種ネットワークの構築が不可欠なものである。 地域包括ケアを完成させるためには、社会制度のイノベーションを進める必要がある。上記の医療介護連携を前提に、すべての世代を対象とした、多様性と交流の中で育まれる社会のあり方として「ごちゃまぜ」を講演者は提案し、「ごちゃまぜによる地域包括ケアの推進」をうたう。例として、吉田一平氏の「元社会福祉法人・愛知太陽の社」、 「第一回地域共生社会推進サミット in ながくて」、雄谷良成氏の「西園寺、シェア金沢、Bs 行善寺、輪島 KABULET 等」の事例がある。 病院業務全体の効率化と生産性向上には、医療事務作業補助者や医療ソーシャルワーカー、管理栄養士・歯科衛生士といった医療関係職の充足が不可欠。そのためには、養成カリキュラムの策定、能力評価方法の開発とキャリアパスの普及、業務内容を正しく反映した職種名の検討、正規職員化の推進といった課題を解決する必要がある。</p> <p>■感想 現状の地域包括ケアでは多死社会に対応しきれないことは明白であり、「ごちゃまぜ」と表現されている文化・社会制度に向けて、人々の価値観を大きく変える必要がある。私は価値観の変革は非常に困難なことであることから、超高齢化社会の深刻な側面が顕在化してもなお変革が起きないケースも懸念しているが、小平市も危機感をもって、現在できることを最大限実直に進めていかなければならないと感じている。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなど等も整理し保管すること。

政務活動費明細書(2)

第2回ホームシェア会議、第6回高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

研修地 京都府

日程 令和元年7月5日～6日

(単位：円)

項目 研修費

内容	数量	単価	金額	備考
①交通費	1 式	30,707	30,707	安竹議員のみ、7月4日～7月5日の視察(京都府・嘉麻市)に引き続き、京都府で開催される研修に参加。
小計			30,707	
②宿泊費				
小計			0	
③雑費小計			0	
内 訳				
	合計		30,707	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	安竹 洋平			件名	第2回ホームシェア会議、第6回高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム				
出張先	京都府			出張日	令和元年7月5日～6日				
交通費	区間	乗物種類	距離(km)	乗車券金額					
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費
	7/5 博多→京都	新幹線	1 661.3	9,830	6,230			16,060	
	7/5 京都駅前→東山三条(宿泊地)	バス	1	230				230	
	7/6 東山→北山	地下鉄	1 7.0	260				260	
	7/6 北山→京都	地下鉄	1 7.7	290				290	
	7/6 京都→東京→高田馬場	新幹線 JR	1 528	8,210	5,390			13,600	
	7/6 高田馬場→花小金井	西武線	1 17.9	267				267	
合計									30,707

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



第2回日本ホームシェア会議

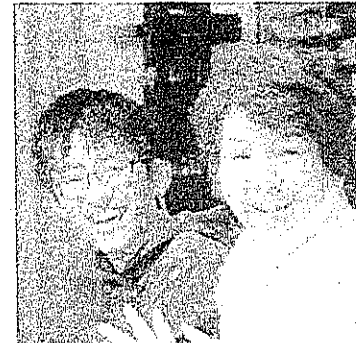


第6回

縁のある住まい方フォーラム

～次世代下宿「京都ソリデール」しませんか?～

月日 7月6日(土)
時間 Ⅱ 13時00分～14時30分



会場 京都府立
京都学・歴史館
(地下鉄北山駅 徒歩5分)



参加費 無料(要申込)

定員 100名(先着)

主催 京都府



研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和元（2019）年 7 月 6 日（土）
場 所	京都府立 京都学・歴彩館
研究会・ 研修会名	第2回 日本ホームシェア会議 第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム
参加した 議員の氏名	安竹洋平
目的・内 容・結果等	<p>■目的 7月4日の京都ソリデール事業視察に引き続き、高齢者と学生のホームシェア事業に関して、事業者や研究者の報告会に参加。小平市でも同様の事業が行えないか検討する。</p> <p>■内容 * 詳細は次ページからのまとめを参照。</p> <p>[第2回 日本ホームシェア会議] 午前中は日本国内の事例を中心に、各ホームシェア事業者が現状や課題の報告を行った。午後は研究者を中心に、海外のホームシェア事例についての報告があった。報告後に質問タイムがあり、事業者や研究者を含めた参加者から質問が相次いだ。</p> <p>(午前) ・ひとつ屋根の下プロジェクト ・ハートウォーミング・ハウスの取り組み ・共住（ともずみ）プロジェクト ・次世代下宿「京都ソリデール」事業</p> <p>(午後) ・ドイツの政策「多世代ハウス」プロジェクトによる多世代交流 ・海外のホームシェア調査から ～スペイン、カナダを中心に～ ・共住（ともずみ）プロジェクト ・海外インターンシップを通して見えてきた『パリ・ソリデール』</p> <p>[第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム] ホームシェアの背景にある社会構造の変化から、ホームシェア国際会議の様子や、日本としての課題についての解説があった。また、実際に京都ソリデールで共同生活を行っている高齢者、学生からの報告もあり、ホームシェアの実際の様子を知ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で広がるホームシェアの可能性 ・「京都ソリデール」の住まい方を聞く ・「京都ソリデール」事業説明 <p>■感想 日本のホームシェア事業者の活動報告や課題の共有だけではなく、研究者による豊富な海外の事例紹介もされ、非常に勉強になる会であった。一つ一つの内容が濃く、一般に得られる情報も限られているため、簡単にまとめることはできない。詳細を参照して頂きたい。 小平市においても、学生期や高齢期といった孤立する時期のリスクをどうヘッジするかは重要な課題であり、空き家問題とも絡めて、ホームシェア事業の検討を行うことは不可欠であると考える。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなど等も整理し保管すること。

2019年7月6日
第2回日本ホームシェア会議
第6回高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム
まとめ

小平市議会議員 安竹 洋平
最終更新:2019/10/24

1

日時:令和元(2019)年7月6日
10:00~12:00(第2回 日本ホームシェア会議・午前の部)
13:00~14:30(第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム)
14:40~16:40(第2回 日本ホームシェア会議・午後の部)

会場:京都府立 京都学・歴彩館

第2回日本ホームシェア会議(午前の部)

1. ひとつ屋根の下プロジェクト
NPO 法人街ing本郷代表 長谷川 大氏(文京区)
2. ハートウォーミング・ハウスの取り組み
NPO法人ハートウォーミング・ハウス代表 圓原 一代氏(世田谷区)
3. 共住(とまずみ)プロジェクト
京都高齢者生活協同組合くらしコープ専務理事 石澤 春彦氏(京都府)
4. 次世代下宿「京都ソリデール」事業
京都府建設交通部住宅課主幹 椋平 秀智氏(京都府)
5. 午前の部・最後に
日本大学文理学部教授 久保田 裕之氏(東京都)

2

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

1. 挨拶
京都府建設交通部 住宅課 課長 岡田 有賀氏
2. 世界で広がるホームシェアの可能性
日本大学 文理学部 教授 久保田 裕之氏
3. 「京都ソリデール」の住まい方を聞く
「京都ソリデール」を実践中の高齢者・学生
4. 事業説明
京都府建設交通部 住宅課 府営住宅整備担当課長 内藤 良辰氏

京都ソリデール事業報告にまとめてあるので、ここでは省略します。

第2回日本ホームシェア会議(午後の部)

1. ドイツの政策「多世代ハウス」プロジェクトによる多世代交流
同志社大学経済学部非常勤講師 上田 友里奈大氏(ドイツ)
2. 海外のホームシェア調査からスペイン、カナダを中心に
福井大学工学部准教授 圓原 一代氏(世田谷区)
3. 共住(とまずみ)プロジェクト
京都高齢者生活協同組合くらしコープ専務理事 石澤 春彦氏(京都府)
4. 海外インターンシップを通して見えてきた「パリ・ソリデール」
京都大学大学院博士課程 鶴羽 愛里氏(パリ)
5. 午後の部・最後に
日本大学文理学部教授 久保田 裕之氏(東京都)

3

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

1. ひとつ屋根の下プロジェクト

1. 概要

ひとつ屋根の下プロジェクトは、東京都文京区本郷で2015年12月から始まった事業で、大学生・大学院生が、文京区在住の高齢者(シニア)宅の空き部屋を借り、ともに生活をする、というもの。文京区の商店主(魚屋、和菓子屋、薬屋)3名が中心となって始めたNPO活動「街ing本郷」の一環で、他に「養生生活」という地域活動のプロジェクトもあり、今回はその現状と課題の報告。

2. 目的

異世代が共に暮らすことで、学生とシニアそれぞれが地域と結び付ききっかけとなり、街ぐるみで見守りや生きがいを生み出す、新しい共助の関係を目指す。シニア側のメリットとしては、孤立感の解消や生きがいづくり、夜間の不安の解消、健康寿命の増進などが挙げられる。学生側のメリットとしては、寂しさや孤立感の解消、シニアのみなさんからの知恵や経験の移転、大学の近くで格安で住めることなどが挙げられる。こうした事例は、フランスを中心としたヨーロッパなどでは先進的に取り組まれている。(ウェブサイトで)

3. 経緯

街ing本郷の活動を始めた動機は、まず商店主としての商業的感覚から、周辺住人の家族構成や空き部屋について知見がある中で、「シニアを地域の人間として見守らなければ」という意識があること。さらに文京区は京都と同様に大学・学生数が多い一方、山手線の内側に位置するため家賃が高く、学生には「もっと近く安くで住みたい」というニーズがあること。

4. 事例

これまで累計で6組、現在は2組共生中。東大と早稲田大の学生。

4

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

5. 資金調達の問題

当初2015年から2年間はWAM(独立行政法人福祉医療機構)から運営費助成金を得ていた。その後、申請を打ち切り、補助金なしで活動することを決意した。

6. ニーズの課題

メディアへの露出で学生から沢山の問い合わせがくる一方、シニアからの反応がない。助成金を得ている2年間に色々挑戦したが、突破口が開けなかった。しかし、たとえば、地域活動の片付けに学生がくる。地域で学生がパフォーマンスをする、パフォーマンスを通じて学生がシニアと交流する、学生がシニアと食事と一緒にったりお茶を飲む、そういう活動にはシニアも学生も沢山来る。そうした中で「一緒に住む」ことにこだわる必要はないと気づき、『住む』と『交流』を分けて考えるようになった。

7. 書生(生活)プロジェクト

「ひとつ屋根の下プロジェクト」以前の2011年から「書生生活」プロジェクトを始めている。これは、シニアとの共生にはこだわらず、本郷地区に空き室や空き家を持つ大家が、学生に部屋を安く貸し出す一方で、学生は一定の義務として地域活動に参加するというもの。実際は義務というより「特典付きの新たな暮らし方」という表現を用いており、学生も楽しんで参加している。

● 義務(特典)

1. 街ing本郷 定例会への参加

隔週で行われる街ing本郷の定例会議に出席すること。社会福祉法人のスタッフ、デザイナー、事業者、ゴミや防災の研究者など多彩な人との出会いもある。

2. 情報発信を担う

ホームページの更新、動画、発生図説、街ingだより等の制作を担当する。

5

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

3. マイプロジェクトの実施

学生の発想で、こんなことでまちづくりに協力したい、自分のやっていることをつなげていきたい、そのアイデアを形にすること。たとえば「フランス人留学生と語ろう会」には、フランス語を話したい人が大勢集まったり、「若者食堂」というフードロスに絡めた企画は、フードロスを研究している学生が企画を立てるなど、学生が地域とつながりながら、自分の研究テーマに沿った活動を行う。

4. 地域活動に参加する

地域の夏祭りや商店街のイベントに参加し、かき氷・やきそばを売る、神輿をかつぐなど。

● 実績

第55年と50年の木造、鉄筋30年の合計9部屋、うち2部屋はホームシェア(ひとつ屋根の下プロジェクト)。これまで25名が卒業。

● 街のプラスになる学生を

学生として街のプラスになるか、安く住みたいだけ、挨拶ができない、態度が悪いなど、街のプラスにならないようでは、団体として責任を持っていないため、お断りしている。一定の割合でそのような学生も存在する。

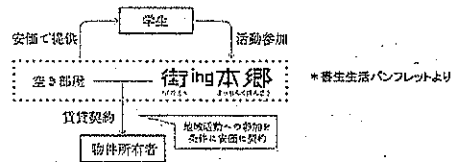
● コーディネート方式からサブリース方式へ

これまで書生プロジェクトはコーディネートでお金をもらう方式だったが、現在は地域の物件オーナーに協力を得て、アパートを一括で安く借り上げ、学生にサブリースしている。この方式であれば学生は安く借りられ、街ing本郷も利益が得られる。

書生プロジェクトの部屋は現在7室ある。ひとつ屋根の下プロジェクトは2室あり、こちらはサブリースではなく、学生は直接大家に部屋代を払っており、街ing本郷は家賃からは利益を得ていない。全体としては収益が少し上がっている状態。

6

第2回 日本ホームシェア会議(午前)



8. 学生を街単位で考える

「学生が一室を借りて、あなたの手助けになります」という視点から「街の中の学生」という視点へ。学生が街に出て神輿をかつぎ、緑日に参加する姿が見えることで、「こういう学生さんだったら賞したい、一緒に住んでもいい」「私もこういう物件をもっている」といった声が上がっている。古紙回収、神社のお祭り、年末年始の夜警など、人手不足のところに「学生を育てれば手助けをしてくれる」という認識が広がっている印象。

9. メディア露出の効果

- 子を持つ親へのアプローチ
親から子に「この企画で東京に住みなさい」と勧める例。うまく成立するケースが多い。
- 高齢の親を持つ子へのアプローチ
東京でひとり暮らししている親のところでできないか、問い合わせが増えている。「そんな団体が若い人たちに住ませたら危ない」という不安が減る効果がある。

10. 学生ニーズの変化

- 経済的なニーズから、人との交流を求めたいというニーズへのシフト
経済的な理由はベースにあるが、加えて学びと交流を求める学生が増えている印象。
- 女性の方が多い
住居としては防犯や耐震性は懸念がある、しかし地域で見守って話してくれる安心感があるのか。

7

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

11. 第二のふるさとづくり

- 10年、20年、50年といった長期的視野でのまちづくり
学生の故郷になって、所帯を持つ頃にこの地域に住もう、となってもらふこと。林業のイメージ。

12. 認定NPO法人取得へ

- 寄付金控除ができる団体になることで、流れが変わるはず
認定NPO認定基準であるパブリックサポートテスト(PST、広く市民からの支援を受けているかどうかを判断する基準)のうち、絶対的基準である、3,000円以上の寄付者数が年平均100人という条件を、1年目はクリア(137人)、現在2年目。

13. クラウドファンディング

- 本郷所在のクラウドファンディング・レディーフォーで募集中
東京大学出発の企業。募集期間のないクラウドファンディングを継続中。

14. 黒字化達成

- NPO法人(認定ではない方)として9年目にして黒字化達成
和菓子教室、ご飯を食べる会など様々な活動で全体でプラスに。補助金を受けずに始めたら上手く回り始めた。

15. Q and A

■ お金の流れは?

サブリースタイプの書生生活は一部毎月5,000円くらいで、街ing本郷はそのマージンを得ている。ホームシェアタイプのひとつ屋根の下では毎月3万円くらい、学生から大家へ。マージンは得ていない。菓子作り教室やご飯を食べる会など様々な活動で全体として黒字。サブリースは、空室については払わなくてよいと、オーナーから承諾を得ている。

8

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

■どこから始めた?

三代目の魚屋として、100年やっているところで「街をなんとかしなければ」という思いから。まず思いがある人々を集めることが重要。

■シニアと学生マッチングの際、属人性を避けるためにチェックリストのようなものは作成している?

作成していない。難しい事業なので、自分の肌感覚でやっており、この組み合わせせならいけるという自身がもてない限りはスタートしない。

■シニアからの収入は?

特に、食べる会での事業収入。食べ物があっておいしだけで会話が始まる。魚屋である点でメリットがあり、フードロスの観点でも行っている。

■学生のイベント疲れは?

住居は別にありながら学生生活のイベントだけに参加している学生もいる。毎回別の学生が担当ため、月に数回あってもイベント疲れはない印象。

■なぜ学生だけに絞っている? 社会人には?

非常に大事なことで、学生は終わりがあるというのがある。社会人からの問い合わせもあるが、断っている。新規代謝も重要な要素。

9

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

2. ハートウォーミング・ハウスの取り組み

1. 概要

ハートウォーミング・ハウスは、建築家の園原氏が2006年に「シェアハウスで他人と暮らす」という暮らし方を提唱して設立したNPO。その後、「建物はどう長寿化できるか」「子供が巣立ったあとの空き部屋をどうするか」といった視点をベースに、ホームシェアに注目し、活動している。

2. 目的

独居や高齢者・障害者世帯が共生していく仕組みとして、シェアリング・ハウス(住居等を分かち合う・共有する)というコミュニティを創り、日々の生活の中で発生する様々な不安などに対する精神的抵抗力を高め、心の豊かさを取り戻す場を創造する事業を行い、その実現のために、独居や高齢者に関する調査研究事業、空き家や空き地等の活用に関する事業、イベント・セミナー等の企画、インターネットや情報誌を使った広報などの普及啓発事業、障害者などの社会参加や就労を促し雇用を促進するための支援事業を行い、シェアリング・ハウスを広め、市民が安心して暮らしていけるコミュニティ社会の発展に寄与することを目的とする。(NPO法人定款より)

3. ホームシェアがもたらす効果

- ・ 地域の建物の長寿化
- ・ 介護保険を受けていない人にも介入できる
- ・ 経済的に困っている学生やフレッシュマンのためになる
- ・ 高齢者のゆるい見守りになる

10

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

4. 日本におけるホームシェアが注目される背景

- ・ 空き家率、シングル率の上昇
- ・ 家の歴史から見た空き家化のプロセス
子どもが巣立っていく、結婚する、場合によっては戻ってこないなどで空き家化する。

5. シェアハウスとホームシェアの違い

- ・ シェアハウス:一軒家をみんなで借りる。
- ・ ホームシェア:家の中の空き室を借りる。高齢者の持ち家を借りる。

6. ホームシェアはNPO・地域資源・建築・行政・大学等が連携し、地域の活性化を図ること

- ・ NPOとしては、空き部屋があった、それを若者に貸そうという視点から発達
- ・ 建築的観点からは、居住に耐えうるかの問題
- ・ 福祉のネットワーク

上記三すくみで連携できるのではないかと発想で行っている。

7. 空き室は空き家の一手前

- ・ 空き室のある世帯は、経済的不安、ひとりで暮らす不安がある
ホームシェアによって家の持ち主が明らかになり、状況が把握できることで、迷惑空き家になるような状況を回避できる。

11

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

8. シェアハウスの良さ(インタビューから)

- ・ 血縁関係はウェットだが、他人同士ならドライな関係でいられる
- ・ 人の気配を感じながら暮らせる
- ・ 発想を切り替えることで楽しみながら暮らせる
- ・ 10年前とはシェアハウスに対する意識も様変わり

9. ホームシェアのメリット

- ・ ゆるい見守り
電気がついている、誰かの気配を感じる、毎朝受け答えをする
- ・ 経済的に双方でメリット
- ・ 住宅ストックの活用、家の長寿化
建物を壊すまでの期間は、世界の中でも日本が一番短い
- ・ 自然なかたちでの世代間交流
- ・ 高齢者にとってはちょっとした着返りにつながる
一緒に海外に出かけた事例も。

12

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

10. 戸建てオーナーの不安材料・期待する点

不安材料

- ・ 入居者を信頼できるか、家が全部見られてしまう
- ・ 入居者が病気や事故など緊急事態になったらどうすればよいか
- ・ 個室に鍵がないためセキュリティの問題
- ・ 家具等が家族が使用していたもので古い
- ・ 入居者に足りないものがないか心配
- ・ 入居者との距離感が分からない
- ・ お互いの暮らし方を尊重できるか

期待する点

- ・ 雨戸を閉めるなど、高齢者だと日常的に困難なこともしてもらえるか
- ・ 良い入居者であればよい関係ができる
- ・ 生活に違う要素・刺激が入る
- ・ 他人だからこそ想像できない発見がある

入居者とオーナーの間にコーディネーターに入ってもらうことで、お互いに伝えられないことや、言っていないかどうか分からないことを、コーディネーターからのアドバイスやサポートを得て解決することができる(入居者側視点も全く同じ)。

13

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

11. 入居者の不安材料・期待する点

不安材料

- ・ コミュニケーションがうまく取れるか
- ・ 水回りがうまく使えるか
- ・ 禁止事項はあるか
- ・ オーナーとの距離感が分からない、心配させないよう帰りの時間をどの程度正確に伝えるか
- ・ お互い、うとうとしないか
- ・ 共有設備のルールを知りたい

期待する点

- ・ 一人暮らしのさみしさがなく、話し相手がいる
- ・ 病気になった際に安心
- ・ 他の家族の暮らし方、生活の知恵、他の世代の生活を見て勉強になる
- ・ 家の管理を頼れる人がいて安心
- ・ 広い空間、庭のある環境で暮らせる
- ・ 地域の情報が得られる

入居者とオーナーの間にコーディネーターに入ってもらうことで、お互いに伝えられないことや、言っていないかどうか分からないことを、コーディネーターからのアドバイスやサポートを得て解決することができる(オーナー側視点と全く同じ)。

14

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

12. オーナー・入居者からの要望

オーナーからの要望

- ・ 入居者の人物保証が欲しい
- ・ 不動産で用いられるような契約書が欲しい
- ・ 入居者との間に入る仲介者が欲しい
- ・ 全体的にどうしたら良いかアドバイスが欲しい
- ・ 緊急時のサポートが欲しい
- ・ どんなトラブルが起こりやすいか教えて欲しい
- ・ 仲介者が入居者の住み心地などを聞き取り調査して円滑化を図って欲しい

入居者からの要望

- ・ 直接要望を言えないので仲介して欲しい
- ・ オーナーとの相性が一番大事、そこをフォローしてもらいたい環境が欲しい
- ・ 入退きのキズ等の確認で第三者の目が欲しい
- ・ ルールの話し合いでサポートが欲しい
- ・ 問題発生時に対応してもらえる人が欲しい
- ・ 共用使用の場合など、うまくいく例などアドバイスが欲しい

15

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

13. 事例1(世田谷区, シェア2部屋, オーナーO氏)

背景・経緯

- ・ O氏は国交省の助成事業で実施したホームシェアトライアルに協力した方(そのトライアルで入居された方が10年間、今もお住まいになるほど良好な関係)
- ・ 年金だけだと厳しい
- ・ 親を看取り、娘も嫁ぎ、一人だと寂しい
- ・ 雨戸を締め切っているような生活スタイルの不安

オーナーがこだわった点

- ・ 別々だった玄関を一つに、もともと二世帯住宅で玄関は別々だったが、自然な暮らしの中で入居者と接点を持ちたいというO氏の意向で玄関を一つにした。玄関と一階の居間でいつも交流している。

マッチングについて

- ・ 事前に入居者候補の方とメールのやり取り、なぜ入りたいか等確認を繰り返し、オーナーへ紹介
- ・ 1年契約の借家契約
オーナーと入居者のことを考えた契約書づくりも行っている

16

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

14. 事例2(世田谷区, シェア2部屋?, シェアオーナーN氏)

背景・経緯

- ・ N氏とはNPO関係で知り合っていた。
- ・ N氏の奥様が大病をされ、自分がひとりになる不安があり、相談に来られた
- ・ 二世帯住宅の1階をすべて外国人に貸していたが部屋を真っ白に塗られてしまった
- ・ ハートウォーミング・ハウスは家の管理だけではなく人の管理もしてくれる点に加え、ホームシェアの要望もあった

案概

- ・ 2016年5月から、すべて女性で、ずっと住んでいる方、他ワーキングホリデーの方など6名

特徴

- ・ 入退去ごとに、料理をふるまってくれる
- ・ N氏のご主人は「若い子と一緒に飲めるのは嬉しい」
- ・ 別荘に行くたびに家の心配をしなくて済む
- ・ 2回に住んで居ると1階の物音が聞こえる、うるさいのではなく安心

15. メディア取材

オーナーには快く対応して下さる方も。入居者は台湾の方が良く出て下さる。

17

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

16. 第6回 ホームシェア・ワールド・ミーティング(2019年6月@ベルギー)

- ・ ベルギーの団体はホームシェア専属で、10年で1,000件のホームシェア実績、スタッフにも給料が出せている
- ・ ベルギーのプリンセスが参加、中心的(象徴的?)役割
- ・ 昼食時に雑談しながら情報共有
- ・ 福祉系の団体、大学など様々な団体が参加
- ・ 若いサラリーマンと高齢者が一緒に住むなども

17. Q and A

■ お金の流れは?

- ・ ホームシェアオーナーへの家賃提案は月5万円をベースに
アメリカの研修では大体5万円を提案しているケースが多かったことから。地区、部屋やリビングの広さ、駅からの距離に依存して、シェアハウスの家賃相場から2割ほど引いた金額を提案。
- ・ 世田谷だと家賃は月4万円越えくらいの金額で、その分はすべてオーナーの手元へ。
- ・ 水道光熱費は8,000円程度。
- ・ ハートウォーミング・ハウスの事業収入

	50,000円	30,000円
		6,000円

18

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

■ どこから始めた?

背景

- ・ シェアハウスの暮らし方を提唱するNPOから始まる
- ・ 家の長寿化のため、家にメンテナンス費用を稼いでもらおう観点
- ・ 寂しいとメンタルが弱くなる部分を疑似家族的な生活で補いたい
- ・ ゆるい見守り、買い物の手伝い、一緒にご飯を食べるなど、ライフスタイルをエンジョイできるはず
- ・ 一人であっても独りぼっちでない暮らし方を広めたい

案概

- ・ すぐに学生は集まったが高齢者が集まらなかった、周りに声をかけて5人からトライを始める
- ・ 高齢者はバックボーンに何があるかを気にするため、スタートアップに国交省、WAMといった支援があると信用力が高まりセミナーの参加者も増えた
- ・ 学生だけでなく、若い役者の卵を支えたり、応援したいオーナーもいることが分かった

課題

- ・ 助成金を得ていると一本立ちできない
- ・ 助成金だと人件費が出ない、一人が担当するホームシェア件数が100件単位で負荷が大きい
- ・ 大学生が入る時期はタイムリーなので難しい、対象を20~30代に広げることも検討

■ シニアと学生マッチングの際、属性性を避けるためにチェックリストのようなものは作成している?

誰でもいいというわけではないので、チェックリストはある。チェックリスト確認後面接。

■ なぜ学生だけに絞っている? 社会人には?

20代、30代は釋業に向かってゼロではない。

19

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

3. 共住(ともずみ)プロジェクト

1. 概要

京都高齢者生活協同組合くらしコープは、「ひとりぼっちの高齢者をなくそう」「元気な高齢者はもつと元気に」ということを重視し、一線を退いて地域へ戻り、何かをされようとしている方や、年金だけでは生活が少し苦しいという方たちに仕事起こしをしている。中心は介護事業。ケアマネも在籍し、訪問介護やデイサービスもやっている。一番の特徴は「介護保険外」の生活支援事業。高齢者のあらゆる困りごとや相談に応じる形で支援しており、選定作業や自宅の片付けなどの手伝いもしている。

2. ホームシェアを始めた経緯

くらしコープの事業を進める中で住まいの問題は継続して話題になっており、京都ソリデール事業が始まるより1年ほど前に、「住まいづくり研究会」を開始。高齢者同士が共に住み合うようなシェアハウスやグループリビングの見学や検討を重ねていた。組合員の中で、一人が住まれている方が、妻の山から夜になると猿や鹿が下りてきてゴソゴソしたら心配という声があり、誰か一緒に住んでくれないかということでホームシェアに関心のある方たちに集ってもらいパーベキューをしたり。その話の中で、生活習慣や経歴の違いもあり、高齢者同士と一緒に住み合うというのは敷居が高いという話に。そこで近くに大学があるので学生に声をかけてみてはどうかという話になった際、京都府がソリデール事業をはじめ、早速手を上げて参加させてもらう。他人同士が住み合うということについて問題意識をもってずっとやってきた。

3. 居場所づくり・サロン活動と応用芸術研究所

京都ソリデールの委託事業以外に、空き家の管理事業、住まい全般の事業を行っている。歌会やマ麻雀をするなど、組合者の居場所づくり・サロン活動も行っており、そこに応用芸術研究所という別の事業者が参加しており、そのメンバーである学生が地域活動を一生懸命やっており、意気投合して一緒に住み始めたのが最初のマッチング。

20

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

4. ホームシェアの広がり住み始めて分かった問題

最初のホームシェアが幸運なことに、オーナーが他人と住むことに全く抵抗がなく、学生との間に工業デザインという共通点を持っていたことから、たちまち京都の広告塔に。あらゆるマスコミで紹介され、地方に住む親から、京都に息子や娘をやるならこの事業で行けないか、安く住めるなら利用したいといった問い合わせが京都府に集まる。

学生は4月から住む場所を決める必要があり、京都府は事業の件数を増やしたいという事から慌てていたところがあり、住み始めてから以下のような問題も発生した。

- 水道代金が跳ね上がり、当初設定の25,000円では足りないのでプラスしてもらえないか
- 食事は作らない契約だったが、カップラーメンではかわいそうなので作りたい、どうしたらいいか

5. お試し同居

同居して初めて分かることも多くある。3日、1週間、1か月、1年、それぞれの期間同居して初めて分かることがそれぞれにあり、マッチング事業者がサポートしながらお試し同居は必要だという結論に。たとえば以下のような状況があった。

- 3日間お試し同居でとても楽しかったが、大変疲れたのでこれ以上一緒に住むのは難しい
- お茶碗を洗うときに水を出しっぱなしでザーザー洗うのがどうしても許せない

6. 共住プロジェクト

生協の役員がグループリビングの6人ほどのシェアハウスを行っていたところ、6畳ほどの部屋が空いているので高齢者には狭いけれども学生に住んでもらえたら、という申し出があり、京都ソリデールにアクセスした学生で適当なところがなかったためそこへ入ってもらった例もある。空き家をどうしたらいいかという相談が良く来る。共住プロジェクトはそういうものの全体を対象としている。

21

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

7. グレートオーナーからオーディナリーオーナーへの課題

現在日本でホームシェアに賛同している高齢者は、高い問題意識と社会経験を持ち、学生を大きく受け止めてくれるいわば「グレートオーナー」。普通の「オーディナリーオーナー」が賛同するには、他人同士が住み合うという新しい文化を作らないと難しいと感じる。また、学生を受け入れるために改修が必要となるなど、経済的な負担をしてまで受け入れられる余裕のある方は少ない。

8. 学生側の課題

長期スパンで経済的に苦しい学生のアクセスが圧倒的に多い。新幹線通学のような遠距離で通っていて時間がないため京都ソリデールに参加したいという方も。最初は問題意識が高く常識的な学生が多い印象だったが、幅が広がるにつれ、連絡してもしばらく返信がなかったり、一癖も二癖もある学生のアクセスも出てきた。

9. 高齢者と若者が共に住むために

- 適度な距離感(べったりせず、無関心でもない)
- マスコミに取り上げられる距離感では敷居が高くなってしまふ
一緒に食事をしたり、何かをしているシーンを強調すると、参加する人は限られてしまう。誰でもできる、気を遣わなくても問題ない、という適度な距離感を示すことが大事。
- マッチング事業者のように、継続してサポートする第三者の存在が安心感につながっている
- 信頼ある主体があること(京都府など)
生協は京都ソリデール事業において昨年度末までに12組関係してきた。これだけの数をこなすことができたのは、京都府がやっている事業で、そこから委託を受けているという信用供託が大きい。

22

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

10. Q and A

■ お金の流れは？

生活協同組合なので、京都ソリデール事業に参加するとして、同居する場合にはオーナー・入居者の両方ともに組合員になってもらう。出資金を一口1,000円で3口以上お願いしている。その上で「組合員同士の互助」という位置づけ。事務費は京都府の補助から賄っている。オーナーへは、実費の目安として25,000円～35,000円と情報提供している。それ以上になると一般的な家賃に近づいてしまう。(京都線部だと3万円台の家賃もある。京都市内だと6万～7万円台。ワンルームマンションだと「狭い安い」だが、この住まい方は「広い安い」なのでうまく情報提供できればと考えている。松平主幹)

■ どこから始めた？

組合者からの相談で、一人住まいで部屋が余っているというところから。具体的に個別の相談事例を通じて一件一件その問題を解決するうちに始まった。同期のある人がいれば始められる可能性がある。

■ シニアと学生マッチングの際、個人性を避けるためにチェックリストのようなものは作成している？

特にない。今は3年間の経験をまとめている段階。当初は不良資産になりかけたような空き家で、前に賃貸住宅で使っていたようなものをソリデールに転用できないかといった、我々が目的としているようなホームシェアじゃないものに関してもアクセスがあった。ある程度参加者についての条件や、アクセスする際のこちらのチェックリストは必要だと考えている。

■ 対象は学生だけ？

一応学生ということで区切っているが、若者でも全然かまわない。社会人のアクセスもあったし、小さな子供を抱えた家族で、外国での経験のある方が、そういう風な住まいがないかと探してこられたケースも。その際は残念ながら適当な物件がなかった。

23

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

■ 高齢者のニーズをどうやって掘り起こしている？

くらしコープがもともと高齢者のニーズをもとに活動している団体。一般的には、会合を通じて、京都ソリデールや共住がいまこんな様子になっているという広報をするもの、なかなかそれだけではニーズを掘り起こすことができない。高齢者が書道教室に来られたり、手紙教室に来られたりすることで事例を紹介すると、関心を持っていただけで、アクセスしてもらっている。

自分の孤立を予想して「何かとつながっていなければならない」といった意識の方も多し。たとえばご主人が初期の認知症の方で、本人が介護職員だった女性の方からは、自分たちが孤立しないために、学生を自宅の空いている部屋に招いて、見守りをしながら一緒に周りにつながってほしいというようなご相談を頂いたことも。

24

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

4. 次世代下宿「京都ソリデール」事業

こちらについての詳細は次世代下宿「京都ソリデール」事業視察 まとめをご参照ください。

上記のまとめに記載がない事項について以下に記します。

1. 連絡会議での、成功事例・失敗事例・情報意見交換の例(上記まとめの5番目)

- ・お試し同居は行った方がよい
- ・最初は少し距離を置いて徐々に近づいて行った方がほどよい距離感が測れる
- ・高齢者の希望とは違う性別の学生をマッチングしてもうまくいかない
- ・学生は大学からの近さを重視しているので、そこを無理してマッチングしてもうまくいかない

2. 留意点

- ・高齢者は希望してから同居に至るまで1年2年と待てるケースもある一方、学生は短く、希望した時を逃してしまふと次の住居が決まったり、契約の更新があったりということで、高齢者の希望者数をたくさん持つておくことが重要
- ・学生が希望しているけれど高齢者がいないエリアや、高齢者がたくさん希望しているけども、学生が希望していないエリア等についても、事業者間の連携、普及・啓発・周知が必要

3. 下宿費補助制度(上記まとめの7番目)

- ・京都府内の生活困窮者世帯を対象とした、家賃・光熱水費・食費の1/3補助制度は上限2万円

25

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

4. 京都府の人口動態・状況(上記まとめの8番目)

- ・単身世帯で約7割の住民が延床面積70平米以上のところに居住
- ・65歳以上単身世帯の2/3は5室6室7室といった部屋数がある

5. 大学生の経済状況(上記まとめの8番目)

- ・家庭からの給付は平成6年度ピークの時よりも3/4に減少
- ・奨学金の受給は平成6年と比べて3.4倍
- ・昼間に大学へ通う大学生のうちほぼ5割が奨学金を借りている

6. 評価

- ・困ったときはお互いさま
東京では高齢者が玄関先で倒れて学生が緊急対応。後遺症なく今も元気に2人受け入れている例も。京都は逆。学生がぎっくり腰、骨折、もう一人骨折。それぞれ高齢者が病院に連れて行く状況。
- ・みんなが納得する中での同居が良い
高齢者の家族、学生の家族も含めて、当事者全員が納得する中での同居が一番良い。
- ・副次的効果
高齢者宅に住み、大学のフィールドワークに参加でき、特別養護老人ホームにアルバイトにも行けて、介護福祉人材の足りないところが少しでも助かっている例もあり、大学の先生からも、すごく良い取り組みとの評価も。
- ・書籍『北東アジアにおける高齢者の生活課題と社会的孤立』でも紹介され、高評価
『単身高齢者が増えてくる中で京都高齢者生協の取り組み共住プロジェクトのような異世代同居は高齢者の社会的孤立の予防につながる活動の一つになる。』等

26

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

7. 課題

費用負担をどうしたらよいか、寄付をどうやって集めればよいか。その解決に向けて、一定のマッチング数、同居者数を達成していく必要がある。

8. 広がり

大学合格者への書類送付にもチラシを入れるなど周知推進。福知山市では市の整備構想の中にソリデール事業取り入れ。京田辺市の市長はこの6月、施政方針の中で、住宅政策で取り組むと表明。

9. Q and A

■ 対象は学生だけ?

京都ソリデール事業は学生を対象にしており、社会人を対象にする等は各事業者でやって頂いても良く、学生を対象とするときだけ京都ソリデールにしてくださいという話になっている。また同様にグループリビングのような方々のマッチングも京都ソリデールの対象にはならない。

■ どこから始める?

事業としては、高齢者、学生、ストックの有効活用、町おこしなど様々な視点があり、例えば小平市で同様な事業を行う場合、どこを主軸にするかを大事にする中で小平市の所管課が決まり、そういうことに共感する人々が出てきたら、そういう方々や団体と一緒にやって行こうというのが良いと考える。

■ 高齢者のニーズをどうやって掘り起こしている?

高齢者のニーズ掘り起こしという点に関しては、京都府での実績が一番多いのは高齢者生協。高齢者の組合数、会員数が多い団体と一緒にやり、その団体の信用を使うということがスタートとしては良いのでは。京都府が出資しているカルチャースクールでの広報でも反応がある印象。

27

第2回 日本ホームシェア会議(午前)

5. 午前の部:最後に

久保田教授から

京都ソリデール事業がうまくいっている一因は、ホームシェア専属の団体に任せるとは方向に舵を切ったことかと考えている。つまり、すでに事業実績があり、事業経費をそれなりに自分たちで賄っているところに、付加的にホームシェア事業を乗せる、というのが基本方針と理解している。それまでホームシェア単体の事業を抱えていた、事業の継続性や事業費用の問題を、ある意味解決できるやり方で、かつその既存 NPO が持っていたリソースを活用する形で、ホームシェアに一步近づけるというやり方。高齢者や学生へのアクセスの難しさもまとめて解決できる。

今日面白い話のひとつとして、取材を受けるとつい一緒に食事したりするケースばかり出すという。あれは話刃の剣。これから取材対応の際はそのあたりに留意する必要があるように感じた。

28

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

1. 世界で広がるホームシェアの可能性

1. 家族の変化とライフサイクル

日本の農村地帯では、従前、長男が農地を継承して家督を集約的に継ぐという「家制度」があり、当初大家族であっても、継続して両親と住むのは長男のみで、それ以外の家族は個別に居を構える仕組みであった。慣行として一族や分家本家、非家族労働者が協力し合いながら農業を運営していくスタイルであったため、地域に定住し、人々のつながりも太かった。その後、都市化が進むとともに、成人後に親元から離れて、都市で独立した生活をするという核家族の在り方がもてはやされた。つまり、独立した個人が市場化されたサービスを利用しながら独立した生活を営むモデルが確立し、ある種の理想とされ、全国的に広がった。時代が進み、独立した個人が高齢化するに伴って、ある意味この歴史の流れを逆行させるような仕組みをどう取り入れていくかが課題とされている。

2. 家族周期と居住関係

家制度における一族としての「家」は、中の人間を入れ替えながらも子々孫々永遠に続くものとされるが、都市に出ていき、農業以外の選択肢を選ぶ夫婦家族には、誕生と消滅のサイクルがある。主に結婚によって家族が生まれ、夫婦どちらかの死亡によって解体されるというサイクルには、家族ではうまくカバーしきれない時期が必ず生じる。たとえば、子供の観点に立てば、家を離れて勉強したり、仕事に出なければならぬ時期、そして結婚をして新たな家族を築く時期であり、親の観点に立てば、子供が巣立って高齢期になり、配偶者が亡くなる時期などである。家族の傘を外れ、自立して生活しなければならないこれらの時期をどうサポートしていくかという観点から、若者のシェアハウスや、高齢者のグループリビングといったものが存在する。ホームシェアの試みは、この若者と高齢者の孤立しがちな時期を組み合わせて解決しようとする試みであると位置づけることもできる。

29

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

3. 各国の家族「外」福祉との関係 日本でホームシェアが注目される理由

上記の現象は世界的にも共通しており、つまり共同体的、一族中心的な家族システムが解体され、夫婦中心の家族システムに移り変わる中で、各国は様々な仕組みで孤立のリスクをカバーしてきた。

- ・イギリス・アメリカ:アソシエーション型
孤立の時期を親族血縁でカバーすることは無理であると考え、共同体としてリスクを引き受けていく、アソシエーション的な試みを進めている。
- ・ドイツ・フランス・スペイン:家族・雇用混合型
企業や労働組合が中心となって年金が出るまで企業が雇用するといった方法で孤立のリスクをカバーする。また、家賃の一部を国や自治体が補填する、生活を支える機能が公的に担保されている。
- ・北欧:政府からの給付・施設型
公的なサポートが充実しており、大学の学費や学生寮の費用が子供手当の延長として支払われたり、高齢者については施設が無料で利用できるようになっている。
- ・アジア諸国:親族共同体型
親族を中心としたリスクヘッジ。血縁者が集まってルームシェアをしたり、親戚の家から大学に通う。学費は親族全体で負担する。

日本の場合、親族共同体が崩壊し、政府の支援もなく、アソシエーションを作るノウハウが育っていない状況であり、様々なリスクヘッジから落ちてしまっている可能性が高い。日本がこれから取り入れられるスタイルとしては、アソシエーション型が有力であり、その観点から、ホームシェアという仕組みが注目されていると考えている。

4. ホームシェアとは

簡単には「独居高齢者の居宅に学生を格安で住まわせる社会事業」のことであり、より具体的には「独居高齢者の居宅に若者を無料ないし格安の家賃で滞在させる代わりに、共同生活者として一定の義務を引き受けてもらう相互援助の仕組み」と定義できる。ケア労働者でもなく、家事使用人でもない、共同生活者であることが重要。

30

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

5. 世界で広がるホームシェア

ホームシェアは、世界で同時多発的に始まっており、2009年から世界会議という形で全世界の事業者が集まって情報交換をしている。2019年にはベルギーのブリュッセルで、2021年にはリバプールで次の会議が開かれる予定。理念は共通しているが、労働法制や文化によって様々な形態がある。

イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリアといったアングロサクソン圏では、文化的に他人と住むことに抵抗が少ない一方で、フランスやスペインなどは他人と住むことに抵抗がある文化圏である。逆に言えば、そのフランスやスペインであっても年に数百件、数千件のマッチング数を誇るということは、日本でも可能性が大いにある。

6. ホームシェアの課題

実際にフランスやスペインの例を調べると、安く住みたいだけの人たちをどうフィルタリングするかが大きな課題になっている。また、大学に近く、家にそれなりの広さがあり、協力しても構わないと考えている高齢者が少ないという課題もある。留学生が増えると、文化的な摩擦も増えてくる。日本の場合はマッチングの数が少ないこと自体も課題であり、フィルタリングができるほどの希望者がいないという背景もある。

7. 2019年ブリュッセル会議から

ホームシェアの国際会議では、スペイン女王が基調講演を聞くなど、絶大な支持が王室にもある。ホームシェアに限らず様々な報告があり、保育園に集まった子供たちを高齢者施設に連れていき、そこで遊ばせ合わせることで統計的に高齢者の抑うつ傾向を下げられないかといった試みがされていたり、都市計画にホームシェアを組み込む話があったり、ホームシェアを福利厚生事業として企業に売り込めないかという提案があったり、どうやって実績を増やしていくかという部分を越えて、その先の展開というものが語られている。日本や韓国などアジアの国々はまだどうやって実績を増やしていくかという段階にあり、それでも各国の活動が中心になるものがある。

31

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

8. Q and A

■シェアハウスやグループリビングのような同世代の試みが先行する理由は？

ひとつは同質性。同じニーズが多数集まれば、それを満たすことは比較的容易。たとえばご飯を1回分作ってほしいというニーズがあった際、賃が一定であれば、総費でどのくらいのコストになるかはすぐに計算できる。一方、若者のニーズと高齢者のニーズは異なるため、それぞれ評価・測定する必要がある。たとえば1回買い出しに行ったらほしいといった際のコストは評価が必要になる。

また、高齢者のシェアハウスはまだ発展しないのは、若者がほとんど家にいないことと比べ、高齢者はほぼ常に家にいるということがある。生活にこだわりがあり、一生をそこで過ごすつもりでいる。オペレーションコストは上がり、現在の市場規模では営利事業として成り立たないという見解がある。

■未婚のまま高齢者になる場合、どう孤立をヘッジする？

結婚しない、もしくは結婚しても離婚することによって孤立の期間が肥大化する。アメリカのシェアハウスは離婚経験者が多い。離婚した人と結婚したことのない人で、共同生活にどう関わり方になるのかわからないところ。共同生活の経験があることはプラスにもなりマイナスにもなると考えている。

32

第6回 高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム

2. 京都ソリデールの住まい方を聞く

1. 概要

京都ソリデール利用者の、80代男性のAさんと、同居する20代女子学生のBさん、70代女性のCさんと、同居する大学2年生のDさん、4名による経験談。

- ・Aさん: 妻を早くに失い、独身独居老人のサロンでソリデールの話を聞き参加。元高校教諭で、課外活動として国際NGO活動を38年間行っており、学生や青年との接触経験が多く、若い人への抵抗はまったくない。ただ、自分の学生時代を思い出すと男子学生の部屋は汚いので、最初から男子学生は受け入れない。風呂場の高いところの掃除などが自分ではできないので、それをやってもらったり、テーブル一つを動かすのも大変なので、とても助かっている。食事は作り置きをしておくときもあるが、山田さんが忙しければそれは自分で食べるなど柔軟に対応してまったく問題はない。
- ・Bさん: 生活は、一日のうちに会ったり会わなかったり。週1~2回、晩飯を食べる約束をすれば会える。最近就職活動が忙しくなり、ほとんど会えていない。同居をしての心理的な変化は、これまでは自分が焦っているとか高齢者が前をゆっくり歩いていると「ああ！」という気持ちがあったが、今はそういう気持ちがない。
- ・Cさん: ソリデールだからこう暮らしなさいという決まりはないため、住んでいる人みんなが自由に気楽にいられることがありがたい。会々と、テレビのニュースや新聞記事の時事問題を話したりする。かつては女子学生もいたが、今は男子学生だけ。男女はどっちでもよい。部屋が二つあるので、片方が女の子なら女の子という風に性別は合わせた方がよいと思う。部屋の中は見ることがないので状態はわからない。
- ・Dさん: 大学から15分ほどの場所にあったことが大きい。それまでは片道2時間弱かかっていた。浮いた時間でレポートなどの課題に時間が割けるようになり、アルバイトも始められるようになって自分の時間が増えた。
- ・Eさん(主幹): 高齢者は基本的に学生の部屋には入らない。プライバシーはしっかりしている。メディアでよく取り上げられるような、リビングで一緒にいる時間というのはごく一部のことで、実際は、自分の部屋でプライベートな空間と時間を楽しみながら、ときおりリビングで話すというもので、気楽で自由な生活環境。

33

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

1. ドイツの政策「多世代ハウス」プロジェクトによる多世代交流

1. 概要

ドイツにおいては、家族支援に対する政府支出が欧州内で低い水準ではないにもかかわらず、出生率が他国と比べて低いという課題があり、政府による一面的・個別的な支援だけでは子供を産み育てるインセンティブを与えることができないことから、社会全体での環境整備という多面的な支援が重視されるようになった。様々な領域のアクターが、分野を超えたネットワークを地域主体で形成し、包括的な支援を行う中で、「家族や個人にやさしい社会の実現」が目指されている。その一環として、世代間関係の強化に焦点を当てた「多世代ハウス」の取り組みに着目した。血縁や年齢、属性を超えた多世代に渡る人々の関係性を育成・強化する取り組みにより、人々の社会的孤立を防ぐ有効な政策事例として機能している。

ドイツでは福祉の担い手として民間の福祉団体が歴史的に大きな役割を果たしてきており、多世代ハウスもこれらの福祉団体を母体とする施設が組み替えられて成立しているケースや、その他NPOや市民ボランティア団体等が組み替えられているケースが多くある。政府の役割はあくまでも枠組み作りにとどまっており、実際の運営はそうした現場の活動の担い手たちに委ねられているため、各地の多世代ハウスは、地域の特色やニーズに応じた独自の活動を展開しており、多様性に富んでいる。

2019年現在、ドイツ全土に約550か所の多世代ハウスが活動を展開しており、各施設には、財政支援として年間政府から3万ユーロ、自治体から1万ユーロの合わせて4万ユーロ(日本円にして約500万円)が支給されている。

多くの多世代ハウスは平日の朝から夕方あるいは夜まで解放されており、その間誰でも自由に利用できる。ハウスは多様性に富んでいるが、共通する特徴として、オフエナートレフ(Offener Treff)「開かれた集いの場」と呼ばれる空間を必ず設けている。様々な活動に参加する人々がそこにふらっと立ち寄りおしゃべりしたりいるような人々が行き来をし、交流活動が行われる、多世代ハウスの中心的な場所となっており、カフェやビストロが併設されている例が多い。オフエナートレフの利用者は1日当たり平均62名で、多世代ハウス利用者の半数以上が毎日利用している。

34

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

2. 活動プログラムの例 (カールスルーエの例)

- ・移民政策の一環として、ドイツ語の能力が不十分な移民が900時間の語学レッスンを無料で受講できる制度(インテグレーション)があり、その実施許可を得た施設としての語学コースの提供
- ・ソーシャルワーカーなどによる育児指導
- ・親子カフェなどの子育て世帯が参加できる活動
- ・認知症高齢者のケア
- ・認知症高齢者の介護をしている家族のための情報提供や支援講座
- ・多様な人々の関係性をつなぐ
 - 様々な国籍を持つ子供たちの遊びサークル
 - 多国語料理教室
 - 若者と高齢者のインターネットカフェ
 - 近所に住む高齢者が子供たちと遊んだりお話をする機会になる仕掛け

3. 住民ボランティア

多世代ハウスではボランティア活動が非常に活発であり、活動やサービスを提供している人のうち約6割、平均して40名程度が地域に住むボランティア。ボランティアは活動の担い手と利用者相互の立場を行き来しているケースが多い。

4. 子育て世帯の支援

多世代ハウスでは子育て支援に力が入れられており、保育施設が併設されているケースが多い。通常の保育施設が閉まった後も、多世代ハウスが開いている間は子供を預けられたり、緊急時の対応もあるなど柔軟な支援が行われている。親の居場所にもなっており、母親の就労復帰を支援する職業教育や、資格取得のための機械提供に取り組んでいる多世代ハウスもある。また、高齢者が親の代わりに子どもの面倒をみたり、宿題を教えたり、料理や得意なことを教えるなど、世代間の交流推進、高齢者の孤立予防・生きがいづくりにもつながっている。

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

5. 若者への教育支援

若者向けの様々な支援が行われており、例えばミュンヘンの多世代ハウスでは、青少年のコーチングプログラムが行われている。家族以外の大人が、子供とパートナー関係を築き、一人ひとりに寄り添いながら長期的に子どもの成長を見守っていくというもの。

6. 多世代共生型住居

必ずしも設置されているわけではないが、多世代共生型の住居が隣地に設置されている多世代ハウスもある。共住しながら、困ったことや共同で行いたいことは多世代ハウスにきて助けを借りながら生活できるようになっている。なお、多世代ハウスは居住する場所とはなっていない。

7. 利用者の声から生まれる多くの活動

利用者同士の交流の中から生まれている活動が多くある。例えば切手収集が趣味の方がいて、それに興味を持った子供がいて、月に一度お互いの切手を交換しようという交流があったり、活動やサービスを作り上げる過程で住民が積極的にかかわっていく。

8. 利用者アンケートから

50名(うち25名が60歳以上の高齢者)へのアンケート結果からは、多世代ハウス利用後に周囲とのつながりに変化があったかという質問に対し、一緒に趣味や地域活動をする友人が増えた、悩みを相談できる友人が増えた、自分のことを気にかけてくれる人ができたなど、利用者の多くが周囲とのつながりの強まりを実感し、ポジティブな反応ばかりであった。

36

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

7. Q and A

■ 多世代ハウスの前身は？

コレクティブハウスがもとになっている。フランスと思われるが、そこからドイツに入ってきて、ニーダーザクセン州で1994年に始められた。民間の福祉団体や企業を中心に広がり、社会的な評価が高まり、政策に取り上げられた。

■ 運営のコーディネーターや、主幹人としてやっている組織は？

ドイツの福祉団体には宗教系の福祉団体が6割以上あり、歴史的に長い期間活動を行っている。これまで子育て支援、高齢者支援、障害者支援という形でバラバラにしてきたそういう施設が、多世代ハウスという世代間の関係・交流の構築に賛同したところから、一部組み替えられている構図。

■ たとえばミュンヘンの多世代ハウスはどこが運営している？

母体は様々。3人の市民ボランティアから始まったところもあれば、大きなキリスト教系の福祉団体もあれば、NPO団体もあれば、様々。多世代ハウスをしたいとなれば、政府に申請書を提出し、目的や規模などの審査が行われる。承認を受けても毎年審査を受ける。

■ ドイツ全土で550か所ということだが、1か所あたりどのくらいの範囲をカバーしているのか

政府としてはもともと500か所を作る目標だったが、それはすでに達成している。上限数は設定していないが、自治体にとっては1万ユーロの補助を出すため、財政的な懸念から制限がかかる場合もある。

■ 併設されている多世代共生型の住居は今後増えていくものなのか、もともと需要がないのか

訪問した7か所のうち4か所は住居併設型。シングルマザーを支援する目的で運営されていた住居が母体になっているところや、政府の補助を受けやすくするために障害者が多く利用するようになった住居など、様々な背景の住居がある。

37

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

■ 日本に多世代ハウスを導入する場合の課題は？

日本では対象をミックスさせる福祉体系がまだまだ実現できていないと感じている。ドイツでいま行われていることは、ネットワークを見える化する。歴史的な福祉団体は活動を継続するためのノウハウを持っており、これから参入する人たちとのネットワークをつなぐためにも見える化が必要。

■ 利用者はどれくらい？ 利用料は？

200人ほど毎日利用しているところもあれば、100人ほどのところも。平気では1日に200名がそれぞれの多世代ハウスを利用している。利用料に関しては基本無料で出入りできる。カフェの料金や、ケアや保育施設を利用する際にはそれら料金が個別にかかる。

■ ボランティア労働力がかなりの原動力になっているということか？

ボランティアは多い。もともと政府は最初の何年間かは補助金を出し、その後は自助に切り替えてもらうことを考えており、自助につながるネットワークづくりを行政がバックアップしている形。ボランティアの参加は重要。

■ 多世代というのは赤ちゃんから高齢者までまんべんなくか、それとも世代の偏りはある？

政府のデータでは、まんべんなく広い世代の利用がある。それぞれの多世代ハウスごとに利用世代の差があることも、その多世代ハウスの個性であり、評価できることと感じている。

38

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

2. 海外のホームシェア調査からスペイン・カナダを中心に

1. 概要

福井大学の周辺は持ち家率7~8割、ほとんど戸建て住宅であり、一人暮らしや二人暮らしの高齢者が増えていく。福井大学の研究室として、地域活動を通じて、県社協やその他外部連携の中でホームシェア事業を開始。民間のアパートを借りて一階部分を交流スペースにし、上階を住宅にするなど、研究と実際のなことをブレンドして取り組んでいる。ホームシェアを推進するうえで海外の事例を調査・研究するようになり、今回はスペインを中心に報告する。

2. ホームシェアの発祥地とされているスペインと、比較的新しく始まったカナダ

若者や学生と高齢者が共に住むというホームシェアは、書籍『ホームシェア・イン・ヨーロッパ』によれば、もともとのアイデアとして1970年代ごろに、アメリカの方で行われていた通常のホームシェアのスタイルに、若い人や学生と、高齢者をマッチングすることで世代間の交流を促そうというコンセプトで、ヨーロッパで始まったとされている。書籍には、1991年にスペインのグラナダにある大学の教師をしていたサンチェス氏が、ホームシェアという形の事業を立ち上げたのが時系列的には最初期ではないかとされている。ドイツやイギリスでは1992年、1993年には始まっている。

カナダでは2010年にカルガリーで始まったのが最初とされており、比較的最近始まった例。ユナイテッドウェイという、社会福祉への寄付を取り仕切っている団体がスポンサーになるので、だれかやらないかということで高齢者福祉サービスを提供している非営利の組織に声をかけ、カルガリーの団体が手を挙げて始まった。

39

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

3. スペイン・グラナダの例

グラナダでは学生支援課の二人の職員が担当。自治体の福祉課とも連携し、情報提供、広報のサポートを受けている。年間20組~25組はマッチング成立。学生はホームシェアに参加すると、食堂の食事が一定割合無料になり、アルバイト時給などの特典も得られる。高齢者オーナーは、自治体から家財保険、光熱水費などの補助が得られるため、基本はお互い金銭のやり取りなく進められる。

10年間ほどでアンケートを実施したところ、学生、高齢者ともに約8割が事業に満足という結果。高齢者への「若者にいい印象を持つようになったか」という問いでは4割~5割弱が賛成。一方の学生への「高齢者に良い印象を持つようになったか」という問いには8割近くが賛成。

4. スペイン・マドリードの例

ホームシェアは90年代にスペインの各市に広がりを見せ、マドリードでは、ソリダリオというNPO団体が多くの実績を残している。この団体は、刑務所から帰ってきた人のサポートや障害者のサポートや高齢者のケアマネサポートを行っている。担当職員は1名。マドリードは大都市で大学も多く、7つの大学と連携し、多いときで年間100組を超えるマッチングが成立している。各大学には担当職員が一人ずつおり、中心となる大学にはホームシェア専用のオフィスが用意され、そこをヘッドクォーターにして、各大学と密な連携を取りながら事業を進めている。

5. ルールは特くない

20歳の学生と94歳のオーナー女性の事例。学生は郊外からの通学が厳しくホームシェアに申し込み、利用料は、他のほとんどのケースと同様に無料。ルールは特になく、オーナーの要望により「1日2時間程度は一緒にいる」と決めているくらい。ヘルパーに来てもらう回数を、週に2回から週に1回に減らせたという話があったが、学生側は負担に感じることはないということであった。補聴器の電池を交換したり、オーナーが転んだ際に、近所の方を呼んで一緒に助け起こしたり。

40

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

6. スペイン・***の例

97年からグラナダと同様の方法で事業を行っているスペインの***では、参加している学生への特典として、ボランティア科目として2単位が与えられる。ホームシェアの理念からすると疑問だが、裏を返せば、スペインにおいてもホームシェアは当たり前のことではなく、インセンティブがあるということ。

7. もうひとつの事例

学生は19歳、オーナーは60代の、地域活動やボランティアに積極的に参加している方。学生は通学に1時間近くかかっていたことから申し込み、ルールは全くなく、食事のルールも決めていない。人と人の関係であり、ルールは必要ないとのこと。

8. カナダ・セントジョンズの例

カナダで最初が始まったカルガリーの事例は、財源が打ち切られて中止されたものの、他の町に派生して広がって、ニューファンドランド島のセントジョンズ市で始まった事業は多くの実績を残している。ホームシェアNLという連携組織が中心となり、市やコンサルタント会社からも資金提供を受けて、広告会社とも連携して情報発信を行っていたり、精力的に活動している。

9. 4か国比較

スペインは大学が主体的に関わっているケースが多く、また「ルールは必要ない」という印象。カナダのセントジョンズは高齢者団体が中心となり、NPO組織を立ち上げて連携組織の事業として行っている。また、月400カナドル程度の料金を徴収したり、デポジットを取ったり、犯罪歴を確認するなど、学生を信用していない面も感じられる。ドイツはスチューデントベルクという学生支援協会が中核で関係機関と連携して行っており、居室1があたり月1時間の作業を割り当てるなどきっちりしている。フランスは高齢者組織が中心となっている。国によって様々なあり、それぞれ特徴があるのは面白い。

41

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

■ 介護が必要なオーナーの場合、学生の資質や試験が要求されることはある？

ザールブリュッケンのケースだと、関わりの軽そうな方がよい学生はこちら、ホームシェアしても大丈夫そうな人はこちらという見極めを基本的には俗人的な判断で行っている。お互いが良ければよく、ただ、介護の責任は発生しないということ。福井の例だと、本人同士が大丈夫でも家族が反対する場合があります、事前に家族から了承を得ることも重要。

43

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

10. ドイツ・ザールブリュッケンの例

ドイツの他のホームシェアと同様に、スチューデントベルクが中核を担い、学生寮の代表者が中心に各所と連携を取りながら希望者をマッチングしている。「老人ホームに学生を住ませる」事業も行っている。この地域では老人ホームが供給過剰気味で、空き部屋に住んだ学生と高齢者がベアを組み、車椅子を押したり、ビールを飲みながらテレビを見たりといった一定時間のサポートを担ってもらっている。

11. Q and A

■ セントジョンズの連携事業は福井ではどう応用できる？

小さな町の共通点は距離の近さ。一つの組織が複数の役割を果たす必要もある。理想的には、マッチング件数や問い合わせが増えれば、社協、大学生協や県立生協と、専任というよりはパートタイムでホームシェア事業に従事してもらおう。行政からの支援は欲しいが、福井では今のところない。

■ ザールブリュッケンのように、日常的な介護が必要な方などもホームシェアされている？

ドイツに限らず、当事者同士が問題なければ、スペインのケースでオーナーが亡くなった際は、事業団体が学生の心理的ケアと、次の相手を手当て。ずっとチューブをつけている家主もいる。介護ではないということをはっきりさせたいので、原則的に本人同士がやるということであれば良い。福祉や医療関係の学生であれば、「この人なら大丈夫」ということで住まわせているところも。

■ マッチングはシステムティックに行われている？人の経験に委ねられている？

アフターケアのことを考えると密接に行わなければならないと感じる。事業として数こなす場合はシステムティックにする必要もあり、そのジレンマがある。
(久保田教授)ドイツのフライブルクでは、若者がWeb登録し、高齢者はその担当者がWebに登録し、データベースに一括管理してあり、若者からの問い合わせがあると、問題がない場合には、マッチング相手の高齢者の情報が提示され、若者は自分で勝手に現地を見に行き、勝手に住み始めて、事後報告するというやり方がある。負担が少なく数がこなせる反面、全体の管理は難しくなる印象。

42

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

3. 海外インターンシップを通して見えてきた『パリ・ソリデール』

1. 概要

報告者は認知神経科学の博士課程に在籍しており、記憶と加齢についての研究を行う中で「高齢者も学び続けることが大切」という観点から、フランス・パリソリデールのインターンシップに参加。

パリ・ソリデールは世代間共住(ホームシェア)をサポートするフランス発のNPOで、2003年にフランスを熱波が襲った際、多くの高齢者が犠牲になったこと、パリは世界で家賃が最も高い都市のひとつであり、学生の住環境問題が存在すること、この二つの課題解決を目指して設立された。ここで定義する世代間共住とは、血縁関係のない二つの世代が一つの場所に住むということ。

2. 世代間共住の効果

これまで述べられてきた、健康面、経済面、安全面、空き部屋の有効活用といったwin-winの効果のほかに、認知やソーシャルスキルの向上にも関係がある可能性が先行研究で指摘されている。

3. パリ・ソリデールが大切にしていること ①世代間住宅サービスの提供

パリ・ソリデールが行っている形式は、まず、京都ソリデールと共通点が多い、高齢者宅に若者が住む形式。それから老人ホームといった高齢者施設の空き部屋に若者が住む形式がある。高齢者宅に若者が住む形式には2パターンあり、家賃を払わなくてよい代わりに平日夜間の滞在が義務になっている「ソリデール」と、家賃を払う代わりに夜間滞在の義務がない「コンビビアル」というもの。

これまで3,500組以上のマッチング実績がある(一人の高齢者に対して若者が複数人いる場合や、以前の同居者が去って新しいマッチングが行われた場合の件数も含まれている)。マッチングは京都ソリデールと同様に、高齢者宅を訪問し、顔合わせをして、後日、印象等をフィードバックして決定する。パリ・ソリデールは、引越した後のフォローアップを大事にしている。

44

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

4. パリ・ソリデールが大切にしていること ②自立性の高い高齢者のライフスタイルを応援

ソリデールに参加する高齢者は新しいことを学ぶモチベーションが高いという印象。スマホ、タブレット、PC、wifi に対する興味が入り口になって、価値観や世界が広がったという高齢者が多い。さらにサークル活動やイベント活動、劇や演劇を若者と一緒に行い、若返った気がする、夕方がすごく楽しみになったといった声が多い。血縁関係がないからこそ適度な距離感で、話にタブーがなく、宗教関係や恋愛についても、夕食時に3時間議論することもよくある。

5. パリ・ソリデールが大切にしていること ③国内外のセクターと協力・連携

様々なサークル活動や、演劇公演の他にも、高齢者の降参、ライフストーリーを綴った本を、自分たちで執筆するサークル活動があったり、その本を出版、朗読する会もあったり、活動に関係した連携パートナーとの接触が頻繁に行われている。国際交流にも寛容。

ソリデールに参加する高齢者は新しいことを学ぶモチベーションが高いという印象。スマホ

パリ・ソリデールが行っている形式は、まず、京都ソリデールと共通点が多い、高齢者宅に若者が住む形式。それから老人ホームといった高齢者施設の空き部屋に若者が住む形式がある。高齢者宅に若者が住む形式には2バターンあり、家賃を払わなくてよい代わりに平日夜間の滞在が義務になっている「ソリデール」と、家賃を払う代わりに滞在時間等の制限がない「コンビビアル」というもの。

これまで3,500件以上のマッチング実績がある(一人の高齢者に対して若者が複数人いる場合や、以前の同居者が去って新しいマッチングが行われた場合の件数も含まれている)。マッチングは京都ソリデールと同様に、高齢者宅を訪問し、顔合わせをして、後日、印象等をフィードバックして決定する。パリ・ソリデールは、引越した後のフォローアップを大事にしている。

パリ・ソリデールは、住宅サービスだけではなく、世代間共生を通して社会的つながりを提供する、「より良いライフスタイルの創造」につながるものと考えている。より良いライフスタイルとは、多様性の理解、歩み寄り、自立性をどこまで追求するかといったことに関連している。

45

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

6. インターンの活動報告

2018年9月から2019年6月までのインターンシップ期間は、ちょうど日本とフランスが友好都市160周年、京都とパリが友好60周年ということもあり、イベントが多く良い時期であった。そんな中、Silver Economy & Ageing Well International Awardという、高齢社会に関係する産業やスタートアップ、社会的により良い生き方を進める事業を評価する国際大会が日本を会場に開催され、パリ・ソリデールとして出場し、ファイナリストに選択された。認知・心理検査及びインタビュー調査については現在データ整理中。「存在」という言葉には「エグジステンス」と「プレゼンス」があり、エグジステンスは例えば神様がいたり、子供が目の前にいないけれども遠くに離れて住んでいるといったことを表現する言葉。プレゼンスは、一緒に住んでいるという意味でつかわれる。血縁関係のある子供はプレゼンスがないけれども、一緒に住んでいる子のプレゼンスは高い、そういう観点で、孤独感との関係性を表現したいと考えている。

7. Q and A

■ 日常的な介護が必要な方などもホームシェアされている？学生の資質や試験が要求される？

学生の専門が看護系だったり、福祉系だったり、パリ・ソリデールは学生だけではなく30歳まで参加可能なため、社会経験があつて、自分の祖母に対する介護経験がある方なども参加している。

(久保田教授)スペインを調査した際は、ケアは専門家の仕事。ホームシェアでは、ケア以外の共同生活に関わる部分をサポートする。たとえば車椅子を押すのはケアではなく、家族や共同生活者の関わりとしてとらえるなど、そこに線が引けるようなケア制度の充実とも関わっている。線が引けていないと、ケアまで担当することになってしまう。

■ マッチングはシステムティックに行われている？人の経験に委ねられている？

それはパリ・ソリデールとしても課題であり、現状は年間150人~200人の高齢者を一人が担当しており負荷が高い。他の方も言う通り、一長一短ある。雇人的だと引継ぎができないという問題もある。

46

第2回 日本ホームシェア会議(午後)

■ 介護が必要なオーナーの場合、学生の資質や試験が要求されることはある？

質の良い学生は人によってそれぞれ。世間体がいい条件を出してきても、顔合わせや実際にソリデールした後の状態がどうなるかといったことは一概にチェック項目では把握できないのではないかと感じている。学生はそもそも学生寮ではなくソリデールを選択している時点で関心が高い。それよりもソリデールで課題になっているのは、高齢者の側が介護不要と申告しても実際はそうではなかったり、申請時に問題がなくても時間の経過とともに認知機能が著しく低下してしまう例などもあり、定期的な確認が必要だという認識で対応している。

4. 午後の部:最後に

久保田教授から

印象深かったのは、ドイツはドイツの、フランスはフランスの社会課題があり、それに対応するための仕組みがそれぞれの国で模索されていて、では日本の社会課題は何なのか、それに適した多世代共同生活の形はどういったものか、再度考える必要があると感じたこと。

高齢者と若者の共同生活にニーズがあるかという点、現状では多くの人はそう考えていない、それは社会事業や政策として関わる場合の一番難しい部分。今あるニーズに対応することより、ニーズがあることに気づいてもらったり、将来予防的に必要であることを、現在のニーズとして具現化し、目の前に突きつけるような啓蒙、より良い社会のイメージを見せ、そこに向かってニーズを作り出させるというような、特殊な事業であると感じた。ドイツやフランスの例もそうだが、最初は経済的にメリットがあるという理由で関わってきた人たちが実際に他人と共同生活を行う中で、ある種の「沼き」に気づき「うまみ」を知っていくようなプロセスがある。一回一緒に住んでみたり、学生を試しに入れてみてくれればということにかかるとかかるものの大きさを改めて感じた。身長なマッチングよりも、小さなマッチングの数を重ねていく方がよいのではということに最後傾いた。

47

政務活動費明細書(2)

三多摩議員ネット 夏講習

研修地

立川女性総合センター・AIM (東京都立川市)

日程 2019年8月5日

(単位:円)

項目 研修費

内容	数量	単価	金額	備考
①交通費	1 式	742	742	
小計			742	
②宿泊費				
小計			0	
③雑費小計			2,000	
内 訳	セミナー受講料	1 式	2,000	2,000
	合計			2,742

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	安竹 洋平			件名	三多摩議員ネット 夏講習 ・保育の無償化について ・マイナンバーカード問題について ・認知症対策大綱について				
出張先	立川女性総合センター・AIM (東京都立川市)			出張日	2019年8月5日				
交通費	区間	乗物種類	距離 (km)	乗車券金額					
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費
	8/5 花小金井⇄国分寺	西武線	1 8.4	206					412
	国分寺⇄立川	JR	1 6.1	165					330
	合計								742

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



領収証

社会奉仕会

様

No.

内訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

ユクヨク 99

但 現金にて

2019年8月5日 上記正に領収いたしました

金額 10,000円

金額 10,000円

収入印紙

印紙 100円

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和元 (2019) 年 8 月 5 日 (月)
場 所	立川女性総合センター・アイム
研 究 会 ・ 研 修 会 名	(幼児教育・) 保育の無償化について・マイナンバーカード問題について・認知症対策大綱について
参加した 議員の氏名	安竹洋平 (記)
目 的 ・ 内 容 ・ 結 果 等	<p>■目的 市や国が抱える諸問題についての前提知識を得るために参加。</p> <p>■内容</p> <p>● 保育の無償化について (公財) 地方自治総合研究所の飛田博史氏による講演。幼保無償化が決定した背景、社会保障・税一体改革の中での位置づけ、地方自治体の負担、評価と課題について。日本の社会保障制度は弱者救済と称する選別主義であり、政府が線引きをする弱者の境界線で国民の対立・分団を生み出す構図。誰もが受けられるような普遍主義の社会保障政策が必要。他国と比べた国民の租税負担感では、日本は高所得者の負担感が軽く、中所得、低所得者の負担感が重い。平成 29 年 12 月に消費税 8%から 10%への引き上げ分のうち 1.7 兆円が人づくり革命に充てられることになり、そのうち約 8,000 億円が幼児教育の無償化に。無償化の財源は平成 31 年度分は国が 100%負担し、2 年目以降は地方自治体の一般財源化。ただし 100%交付税算定され、地方消費税増収分との差額を地方交付税で賄うとしている。無償化は普遍主義の一面はあるものの、0~2 歳で所得制限を設けたことに政策理念がない。待機児童対策、保育士の処遇改善・不足解消が喫緊の課題。</p> <p>● マイナンバーカード問題について 共通番号いらないネットの原田富弘氏による講演。マイナンバー制度の経緯と現状、ロードマップ、情報連携、自治体ポイント実証実験例、利用拡大に向けた法整備と国から自治体への依頼等について。マイナンバーカードは平成 31 年 4 月時点で交付率 13%と普及しておらず、サーバー費用 100 億円かけているマイナポータルも利用率 0.02%、情報連携が始まっても添付書類は省略できない状況、かつ通常より時間がかかり、自治体ポイントサービスの実証実験でも利用が広まらないまま終了、平成 30 年の内閣府世論調査でも国民の理解が得られず必要もないとされ、自治体での普及を進めようとしているが市民のメリットがない状況。費用がかさんでメリットが見えない制度の見直しを。</p> <p>● 認知症対策大綱について のぞみメモリークリニック医師の木之下徹氏による講演。厚生労働省が令和元年 6 月に公表した「認知症施策推進大綱」について。平成 24 年時点で認知症+MCI の人数は 862 万人で、増え続けている。大綱の基本的考えは「共生」と「予防」だが、米国アルツハイマー協会も認めているように、現時点で予防はできない。また、予防と共生は両立しないため、予防できないことを直視する必要がある。また、共生をうたうが「見守り」という言葉に象徴されるように、当事者の気持ちが反映されていない。対応、お世話、対策という言葉も同様、大綱にも「合理的配慮」の言葉がないことなど、対等な立場の視点で作られていない。本当の共生とは何かを突き詰め、言葉も変えていく必要がある。</p> <p>■感想 特に認知症の「予防できない」「共生」の視点は貴重で、小平市の施策へも訴えていく。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなど等も整理し保管すること。

三多摩議員ネット 夏講習(夏合宿)

◆会場 立川市女性総合センター

(いずれの部屋も「無防備ネット・たま」さんをお願いして取りました)

◇8月5日(月)

13:30~15:00 保育の無償化について 講師:飛田博史氏(公益財団法人地方自治総合研究所研究員) (第2会議室)

15:20~16:50 マイナンバーカード問題について 講師:原田富弘氏(共通番号いらぬネット) (第2会議室)

休憩

18:00~19:30 認知症対策大綱について 講師:木之下徹氏(のぞみメモリークリニック医師) (第1会議室)

2019/08/05

幼児教育・保育無償化について

(公財)地方自治総合研究所 飛田博史

2019.8.5三多摩議員ネット学習会 資料
原田富弘(共通番号いらぬネット)

マイナンバーカードの強引な普及策をはねかえそう!

- 資料集 [1]マイナンバー制度の現状
[2]198国会での利用拡大
[3]2019.6.4普及・利活用方針
[4]自治体に対応が迫られていること
[5]政府も私たちが正念場

【主な資料出典】

- ◇総務省全国都道府県財政課長・市町村担当課長合同会議2019.4.25資料8
<http://www.pref.okayama.jp/page/610124.html>
◇令和元年度社会保障・税番号制度担当者説明会 資料2
平成28年度社会保障・税番号制度担当者説明会 資料1
<http://yabure.kokuseki.info/cns/explanatory/>
◇全国知事会情報化推進プロジェクトチーム2019.7.9
http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/project/informatization/haisei31_reiwa01/1562820921545.html

認知症とともによりよく生きる

認知症対策大綱策定について

のぞみメモリークリニック(東京都三鷹市)
木之下徹

主催:市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク
日時:2019年8月5日(月)18時30分~19時30分
場所:立川市女性センターアイム

政務活動費明細書(2)
 自治体議員政策情報センター 虹とみどり 地方×国政策研究会
 研修地 議員会館(東京都千代田区)

項目 研修費 日程 2019年10月28日 (単位:円)

項目	内容	数量	単価	金額	備考
	①交通費	1式	1,006	1,006	
	小計			1,006	
	②宿泊費				
	小計			0	
	③雑費小計			2,000	
内 訳	セミナー受講料	1式	2,000	2,000	
	合計			3,006	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	橋本 久雄			件名	自治体議員政策情報センター 虹とみどり 地方×国政策研究会				
出張先	議員会館（東京都千代田区）			出張日	2019年10月28日				
交通費	区間	乗物 種類	距離 (km)	乗車券金額					
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費
	10/28 一橋学園⇄高田馬場	西武線 1	23.9	304					608
	高田馬場⇄永田町	東西線 1	7.4	199					398
	合計								1,006

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



地方×国政策研究会
領収証

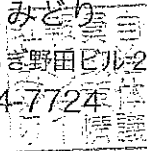
一人会派の会様

2,000円

但し 政策研究会参加費として

2019年10月28日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり
〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724



10.28地方×国政策研究会

未来を創る
学びの秋

第31回
地方×国
政策研究会

2019年10月28日(月)
10時～16時00分 (開会 10時10分)

場所: 参議院議員会館 B104
東京・地下鉄永田町・国会議事堂前徒歩5分

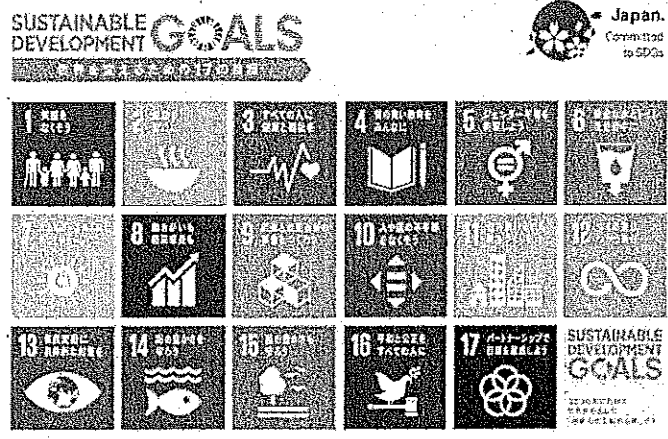
定員: 100名 (先着順) 申し込みは要す
申し込み: 090-4030-1219 井奥まで
お問い合わせください

※本研究会は、地方自治体議員の政策研究の場として、地方自治体の政策に関する議論を促進することを目的としています。また、地方自治体の政策に関する議論を促進することを目的としています。

※本研究会は、地方自治体議員の政策研究の場として、地方自治体の政策に関する議論を促進することを目的としています。

※本研究会は、地方自治体議員の政策研究の場として、地方自治体の政策に関する議論を促進することを目的としています。

※本研究会は、地方自治体議員の政策研究の場として、地方自治体の政策に関する議論を促進することを目的としています。



第31回地方×国政策研究会

テーマ: 地方自治体とSDGs、会計年度任用職員

チラシは→

<http://jjc.jpn.org/pdf/20191028tihoukuni.pdf>

○日時: 2019年10月28日(月) 10時～16時 (詳しいスケジュールは下記)

○場所: 参議院議員会館B104

[東京・地下鉄永田町・国会議事堂前徒歩5分]

※石川大我事務所にて部屋を予約しています。9時30分～10時と12時30分～13時30分にスタッフが通行証を配布します。また、それ以外の時間帯は 090-4030-1219 井奥までお問い合わせください。

- 講師 川久保俊さん(法政大学デザイン工学部建築学科准教授)
- 上林陽治さん(官製ワーキングプア研究会理事・地方自治総合研究所研究員)
- 内閣府職員、総務省職員

○参加費(資料代) 会員議員2000円 / 非会員議員4000円 / 会員市民 無料 / 非会員市民 500円

■スケジュール予定 変更の可能性があります

10時～10時10分 開会のあいさつ

◎テーマ1 地方自治体とSDGs

持続可能な開発目標(SDGs)は2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」というビジョンを掲げています。地方自治体の政策、特に総合計画

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	2019年 10月 28日 (月)
場 所	議員会館
研究会・ 研修会名	自治体議員政策情報センター 虹とみどり 地方×国政策研究会
参加した 議員の氏名	橋本久雄
目的・内 容・結果等	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ 会計年度任用職員制度をどう考えるのか ● 講師 上林陽治 完成ワーキングプア研究会 公益財団法人地方自治総合研究所 研究員 ● 資料 会計年度任用職員制度をどう考えるのか <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公務員の2つの種類 <ol style="list-style-type: none"> 1. 定数内職員とは 任期が会計年度を超え定数管理を要する職員⇒無期雇用の職員の正規職員 2. 定数外職員とは 任期が会計年度で予算管理内職員⇒勇気の非正規職員 <p>不安定雇用の非正規職員に一定の身分保障を貸したことは評価できる。期末手当も支給されるようになった。 しかし一方で、ほぼすべての自治体が定数条例で定められた人員数を下回っている。 まだまだ低賃金の非正規寮同士の改善は喫緊の課題である。</p>

政務活動費明細書(2)

三多摩議員ネット 冬合宿

研修地 府中生涯学習センター(東京都府中市)

日程 2020年1月16日~1月17日

(単位:円)

項目 研修費

内容	数量	単価	金額	備考
①交通費	1式	1,468	1,468	
小計			1,468	
②宿泊費				
小計			0	
③雑費小計			7,500	
内 訳 合宿参加費	1式	7,500	7,500	
合計			8,968	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	橋本 久雄			件名	三多摩議員ネット 冬合宿				
出張先	府中生涯学習センター (東京都府中市)			出張日	2020年1月16~17日				
交通費	区間	乗物種類	距離 (km)	乗車券金額					
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費
	1/16 一橋学園⇄国分寺	西武多摩湖線	1 2.4	147					294
	国分寺⇄府中	京王バス	1 3.7	220					440
	1/17 一橋学園⇄国分寺	西武多摩湖線	1 2.4	147					294
	国分寺⇄府中	京王バス	1 3.7	220					440
合計				1,468					

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



領 収 証

No. _____

2020年 / 月 / 17日

ト会社様

¥ 7500.-

但 冬期政策名簿加費
上記正に領収いたしました

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額 (%)	

株式会社ト会社
 [Redacted]
 会計 [Redacted]

市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク 2020 冬合宿

日程：1月15日(水)～ 2020年1月16日(木)

会場：府中市、府中生涯学習センター

研修参加費：7500円

● 研修内容

15日

15時～18時 持続可能性を追求する時代の自治体

講師：内田東吾 一般社団法人 イクレイ事務局長

16日

9時半～11時半 2020年の介護保険

講師：小竹雅子 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	2020年 1月 16日 (木) ~ 2020年 1月 17日 (金)
場 所	府中生涯学習センター
研究会・ 研修会名	市民自治をめざす三多摩議員ネット 冬合宿
参加した 議員の氏名	橋本久雄
目的・内 容・結果等	<p>● 研修参加費 7500円</p> <p>● 研修内容</p> <p>16日 ① 15時~18時 持続可能性を追求する時代の自治体 内田東吾 一般社団法人 イクレイ事務局長</p> <p>② 19時~21時 各議会報告</p> <p>17日 ① 9時半~11時半 2020年の介護保険 小竹雅子 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰</p> <p>① 持続可能性を追求する時代の自治体 イクレイは持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会で、世界1750以上の様々な規模の自治体で構成される国際ネットワークです。 この団体の事務局長である内田さんからお話を伺った。 パリ協定に基づき、今世紀末までの気温上昇を産業革命じより2℃以内に抑える。可能であれば1.5℃以内に抑えることが2015年のパリ協定で合意された。日それを受けて、日本は2030年、26%。2050年80%の削減目標を設定した。しかし、2050年ゼロを目標にする動きが広がり、各国は新たな目標設定が求められている。すでにヨーロッパなどは2030年50%、2050年ゼロを表明している。 しかし、日本は 新たな目標も従来通りとする動きがある。高い目標値を設定できない設定できない大きな要因が石炭化石発電を手放さないことなどがあげられる。 したがって、自治体から気候危機宣言を上げること。すでに20近くの自治体が宣言している。 あるいは2050年ゼロの目標を掲げることが求められている。東京都をはじめ60余りの自治体が2050年ゼロを掲げた。人口で言えば4000万人になる。 東京都は、ゼロエミッション東京戦略を策定し、世界一の環境先進都市・東京の実現を目指している。 この流れを受けて、それぞれの自治体でも申した目標に対応する目標値の設定が求められている。</p> <p>② 2020 険保険 介護保険は利用する人の「自己決定、自己選択」の制度と説明されていた。持続可能性の高い介護提供体制の構築がうたわれたが実態は安心して歳を重ねることのできる制度が崩壊する危機に立たされている。 地域支援事業では「予防重視型システム」から「健康寿命の延伸」への方向が変わった。 原点に立ち返り、改めて介護の社会化を実現する見直しが求められている。</p>

政務活動費明細書(2)
 三多摩議員ネット 冬合宿
 府中生涯学習センター(東京都府中市)
 日程 2020年1月17日

研修地

項目 研修費

(単位:円)

項目	内容	数量	単価	金額	備考
	①交通費	1 式	796	796	
	小計			796	
	②宿泊費				
	小計			0	
	③雑費小計			2,000	
内	研修受講料	1 式	1,000	1,000	
	資料代	1 式	1,000	1,000	
訳					
	合計			2,796	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交通費計算明細書

出張者	安竹 洋平			件名	三多摩議員ネット 冬合宿 ・介護保険制度について					
出張先	府中生涯学習センター (東京都府中市)			出張日	2020年1月17日					
交通費	区間	乗物種類	距離 (km)	乗車券金額						
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費	
	1/16 小平⇄国分寺	西武線	1	5.7	178					356
	国分寺⇄府中	京王バス	1	3.7	220					440
	合計								796	

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



領 収 証

No. _____

一人会派の会 様

2020 年 1 月 17 日

¥ 1,000

但 研修会参加費 2020年9月介護保険
上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	✓
手 形	✓
消費税額 (9%)	

株式会社 三井物産株式会社

領 収 証

一人会派の会 様

2020 年 1 月 17 日

★ ¥ 1,000

但 不明政策台省資料必
上記正に領収いたしました

内 訳	
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

株式会社 三井物産株式会社

合計

研 修 報 告 書

会派名：一人会派の会

年 月 日	令和2 (2020) 年1月17日 (金)
場 所	府中生涯学習センター
研究会・ 研修会名	介護保険制度について (2020年の介護保険)
参加した 議員の氏名	安竹洋平
目的・内 容・結果等	<p>■目的 複雑な仕組みを有する介護保険の全般的な知識を得るために参加。</p> <p>■内容 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰小竹雅子氏による講演。</p> <p>● 介護保険制度の基本 介護保険導入以前と以降の比較。市町村が中心になってサービスが提供されていたものが、自己決定、自己選択の形に。当初は所得に関わらず1割の応益負担とされていた。</p> <p>● 介護保険制度の現状 被保険者第1号3,440万人、第2号4,200万人。介護保険料の負担割合は1号と2号被保険者の人口比率で決まる。財源は公費5割、保険料5割。ただし介護保険総費用の増加に対し国庫負担金の増加割合は低い。保険料は所得に応じて変わり、市区町村(保険者)毎に異なる。介護サービスの利用度合いで保険料は上がり全国平均保険料は令和2(2020)年度が平成12(2000)年度の2倍。保険料が高い上位30保険者には東日本大震災区域が多く含まれる。介護認定は市区町村毎の地域包括センターに申し込み、訪問調査と主治医意見書をもとにコンピュータ判定が行われ、介護認定審査会で二次判定が行われる。主治医が意見書を出しにくい状況も。利用できる事業・サービスは大きく分けて4つ。介護予防・生活支援の「地域支援事業」、ケアマネ・ホームヘルプ・デイ・ショートステイ等の「在宅サービス」、提起循環・認知送デイ・小規模多機能型居宅介護等の「地域密着型サービス」、特養・老人保健施設・介護療養病床等の「施設サービス」。認定を受けた人数は平成30年度で659万人、そのうちサービス利用者は494万人で、平成28年度から減少傾向。在宅サービス利用が8割で、施設サービスの利用割合は減少し続け、平成28年度で19%。一人当たり費用は在宅サービスが圧倒的に安く、医療系の施設サービスは高額。サービスの利用限度額は平成12年度から僅かに上昇。要支援区分は平成に二区分に。介護報酬単価は市区町村により金額が変わる(10円~11.4円、小平市は地域区分3級地でサービスに応じて10~11.05円)。サービスに支払われる給付費の割合は在宅サービス48%、施設サービス31%、地域密着型サービス15%であり、利用者割合と異なることから、施設サービスを使った方が得に。介護保険は社会保障給付費の約8%。社会保障財源は社会保険料収入が50%で、その割合は年々減らされ、非正規社員が増えているにも拘わらず企業優遇が進んでいる。介護報酬は全国平均賃金より下がっており、基本報酬を上げ、高所得者の負担割合増を、など。</p> <p>■感想 国制度の課題を踏まえ、小平市の施策へ訴えていく。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなど等も整理し保管すること。

ハスカップ・レポート 2018-2020

まだまだ変わる！ 介護保険

市民福祉情報オフィス・ハスカップ

介護保険 2018-2020

介護保険ホットライン企画委員会

介護保険ホットライン 2018

【講義等日時】

1月16日 13時～16時 各市の災害対応（台風19号対応）について対応報告&情報交換

16時～18時 2020年パリ協定スタート～気候危機に効く自治体政策～

（講師：内田卓吾さん イクレイ-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会・事務局長）

1月17日 10時～12時 介護保険制度について

（講師：小竹雅子さん 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主幹）

※府中市の給食センター見学については先方の都合が調整付かず、今回はなしになりました。

したがって全て参加する方は16日13時に府中市生涯学習センターまでお越しください。

なお、周辺にはほとんど買い物や食事をできる場所がないということなので、ご注意ください。

【場所】府中市生涯学習センター

（京王線府中駅から徒歩15分・バス9分

JR中央線武蔵小金井駅からバス15分）

https://fuchu.shogaigakushu.jp/?page_id=3360**//

**//

【料金等】

・受講料

講師の方には謝礼をお支払いしております。

そのため、それぞれの講義に対して議員1000円、非議員500円の受講料のお支払いをお願いいたします。

なお、ハスカップ小竹さんの講義で資料（書籍）の販売もあるようなので、そちらもよろしければ購入いただければと存じます。

政務活動費明細書(2)

認知症の人による社会参加推進フォーラム

研修地

東京・有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

日程 2020年2月7日

(単位:円)

項目 研修費

項目	内容	数量	単価	金額	備考
	①交通費	1 式	1,004	1,004	
	小計			1,004	
	②宿泊費				
	小計			0	
	③雑費小計			0	
内					
訳					
	合計			1,004	

※項目欄は、調査研究費、研修費、要請及び陳情活動費、会議費を記入して下さい。

交 通 費 計 算 明 細 書

出張者	安竹 洋平			件 名	認知症の人による社会参加推進フォーラム					
出張先	東京・有楽町朝日ホール (東京都千代田区)			出張日	2020年2月7日					
交 通 費	区間	乗物 種類	距離 (km)	乗車券金額						
				運賃	特急料金	グリーン	その他	片道旅費	往復旅費	
	2/7 小平⇄高田馬場	西武線	1	20.6	304					608
	高田馬場⇄有楽町	京王線	1	15.2	198					396
	合 計								1,004	

明細については上記のとおりです。

会派名 一人会派の会

代表者 伊藤 央



研 修 報 告 書

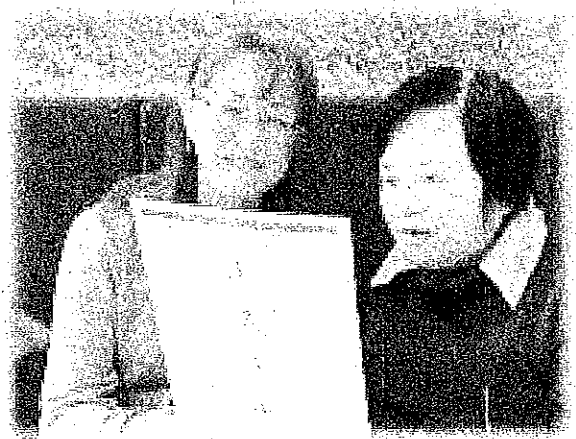
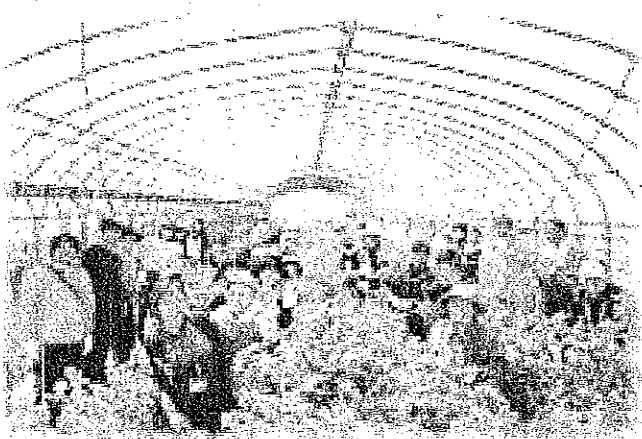
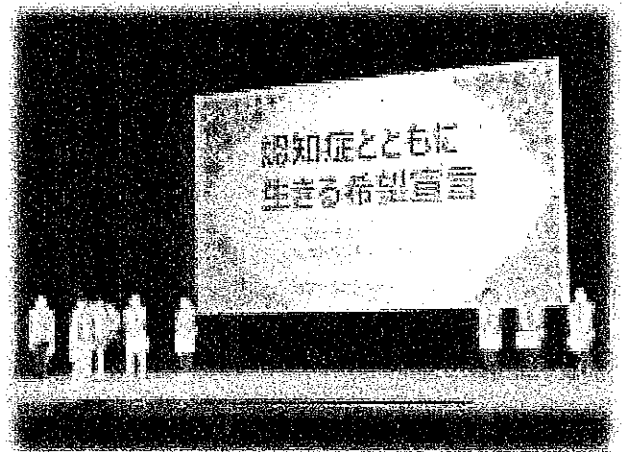
会派名：一人会派の会

年 月 日	令和2(2020)年2月7日(金)
場 所	東京・有楽町朝日ホール
研究会・ 研修会名	認知症の人による社会参加推進フォーラム (認知症介護研究・研修東京センター)
参加した 議員の氏名	安竹洋平
目的・内 容・結果等	<p>■目的 少子高齢化・長寿命化の急速な進展と共に認知症の方の人数は年々増加しており、小平市においても多くの方が苦難に直面している。厚労省は令和元年6月に『認知症施策推進大綱』をとりまとめており、小平市としても、認知症の方々が希望をもって暮らせる地域共生社会の実現に向けて、早急に具体的な対策を行う必要があり、その前提知識を得ることを目的として参加した。</p> <p>■内容</p> <p>①認知症の人による社会参加活動の重要性と可能性： コーディネーター役の認知症介護研究・研修東京センター永田氏による講演。認知症対策推進大綱の概要説明から始まり、社会参加できず絶望の悪循環に陥っている人々の状況と、社会参加活動の重要性を解説。家族、地域、専門職、行政職全体を巻き込んだ取り組みが必要。特別新しいことではなく、まず地域で育っている事柄を活かすことから始めること。最後に『認知症とともに生きる希望宣言』の紹介。</p> <p>②報告1 若年性認知症の方の居場所をつくり、社会の中でやりたいことを一緒に実現： 広島市西部認知症疾患医療センター岡田氏による講演。市営住宅集会所を使い、若年性認知症の人々を対象に、週一回、農作業、ものづくり、音楽活動等、をする場「きつね倶楽部」を提供。専門医や移動支援、在宅介護、ショートステイとのつながりも提供。成果として、精神的な安定、様々な支援とのつながり、共に考える仲間が得られた等あり、一方、受け皿が必要、専門職の協力体制の充実が必要といった課題も。</p> <p>③報告2 本人とともにつくるわがまちの社会参加活動 岩手県矢巾町の地域包括支援センター鱒沢氏による講演。世界アルツハイマー月間にあわせて令和元年9月に開催されたイベント「スマイルディメンシアやはば」の紹介。会場選びの苦悩や、候補者家族からの辞退続出など参加者募集時の苦労、それを乗り越えたことで得られた沢山の成果についても語られた。</p> <p>④報告3 本人と共に進める社会地域のバリアフリー 和歌山県御坊市市民福祉部介護福祉の谷口氏による講演。認知症にやさしいまちづくり条例(仮)の制定を目指した活動について。条例は①自分らしく②いつまでも挑戦でき③それぞれが活躍できることを基本理念とし、認知症の人が発信し、社会参画することを明記。本人の視点に立つことを重視し、スーパー銭湯をサロンに使わせてもらい交流を行ったり、病院内や町を歩いて動画を撮影したりすることで新たな発見があり、特に郵便局のマークを建物側面に提示することで認知症による迷子が減るといった事例はメディアにも取り上げられるなど、副次的に得られた成果も大きい。</p> <p>⑤報告4 ピアサポートを通じた本人の社会参加活動 鳥取県鳥取市認知症地域支援推進員 金谷氏による講演。認知症と診断を受けた本人や認知症の可能性を感じている人が、すでに認知症と診断されている当事者がカウンセリングを行う事業『おれんじドアとっとり』の紹介。①早い段階で仲間に出会うことで良い情報が得られる、②新たな暮らしをスタートする入り口となる、③本人に必要なつながりが得られるといった効果がある。</p> <p>⑥クロージングセッション、⑦ポスター掲示</p> <p>■感想 具体的な事例を多数学べたため、小平市への訴えにつなげていく。</p>

◆研修等の開催通知・スケジュールなども整理し保管すること。

認知症の人による 社会参加推進フォーラム

～認知症地域支援推進員のチャレンジ～



2020年2月7日
(有楽町朝日ホール)

認知症介護研究・研修東京センター

領 収 書

御氏名

一人会派の会

様

オーダー番号

XXXXXXXXXX

金 55,566円也

但し商品代金として

クレジットカードにてお支払
パソコン代金として

領収年月日 2019/06/03

上記正に領収いたしました。

デル株式会社

212-8589

川崎市幸区城川町580番地

ソリッドスクエア東館20F



領収書番号：R190608-5881811

領収書

一人会派の会 様

金額 5,979円

(内:消費税額等 442円)

但し、PCパーツ代金として

2019年 6月 8日 上記正に領収いたしました。

ご注文明細 (内訳)

ご注文受付番号：X190608-5881811

お支払い方法：d払い

※内蔵ストレージ
PC本体とは別にバラで購入の方がお得です

メーカー名・商品名・型番	数量	金額
intel Intel SSD 760p M.2 PCIe×4 256GB SSDPEKKW256G8XT	1	5,979円

その他(送料・手数料)

0円

合計 5,979円(内:消費税額等 442円)

〒108-0023 東京都港区芝罘3-4-1 グランパークタワー8階
エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社
TEL 0120-003-104 FAX 03-6344-1267
E-mail:shitsumon@nttstore.jp

領収書番号：R190728-0010077

領収書

一人会派の会 様

金額 36,800円

(内:消費税額等 2,725円)

但し、プリンター代金として

2019年 7月 28日 上記正に領収いたしました。

ご注文明細(内訳)

ご注文受付番号：X190728-0010077

お支払い方法：d払い

メーカー名・商品名・型番	数量	金額
ブラザー工業 A3インクジェット複合機/FAX/ADF/有線・無線LAN/給紙トレイ2段/両面印刷 MFC- J6983CDW	1	36,800円

その他(送料・手数料)

0円

合計 36,800円(内:消費税額等 2,725円)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー8階
エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社
TEL 03-20-003-104 FAX 06-6244-1267
E-mail:shitsumon@nttstore.jp

領収書番号：R190919-5616309

領 収 書

一人会派の会 様

金額 8,986円

(内:消費税額等 665円)

但し、インク代金として

2019年 9月 19日 上記正に領収いたしました。

ご注文明細 (内訳)

ご注文受付番号：X190919-5616309

お支払い方法：d払い

メーカー名・商品名・型番	数量	金額
ブラザー工業 インクカートリッジ大容量タイプ お徳用4色パック LC3119-4PK	1	8,986円

その他(送料・手数料)

0円

合計 8,986円(内:消費税額等 665円)

〒103-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー8階
エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社
TEL 0120-003-104 FAX 06-6344-1267
E-mail:shitsumon@nttstore.jp

領収証
小平店 ☎ 042-320-1620

一人会社様

領収証

2019年

¥1,021-

コーナン商事株式会社 (消費税 75円を含みます)
〒593-8324 堺市西区鳳東町6-637-1
小平店 TEL 042-320-1620 現田 掛口 クレオ SRD
※保管上のお願いは、印刷面を内側に折って保管願います。
お買上げ明細だけの返品、交換はお受けできません。

獲得ポイントは購入後、通常3日以内に反映されます。

お買上げ商品の返品、交換は、領収証をご持参のうえ2週間以内にお願います。
(一部商品につきましては、除外させていただきます。)
お買上げ明細のみの返品、交換はお受けできません。

領収書



サンドラッグ小平店
東京都小平市
小川町2-1813-1
TEL. 042-345-9671
2019年 08月 13日 (火) 15:11TM

11 コピー用紙
¥298(税抜) ¥321 (税込)

税込小計 1品 ¥321
合言十 ¥321
内消費税 ¥23
お預り ¥1,021
お釣 ¥700

責任者: [REDACTED] (01)
0050-03-9250-00009932



2020年01月16日
一連No. 015308
領収No. 000007

領 収 証

1人会派の会 様

¥4,911-

外税対象 10.0% ¥4,465-
外税 ¥446-

(但し A4コピー用紙代として、正に領収致しました)
印刷面を内側に折って保管願います 印

髙日本堂文具店
東京都小平市学園東町2-4-13
TEL 042-342-0248

